

第 37 回日本がん看護学会学術集会 ご案内・プログラム

がん患者の持つ力を見出し支援する

開催場所：パシフィコ横浜ノース

開催期間：2023 年 2 月 25 日（土）・26 日（日）

開催方式：会場+オンライン

学術集会長：清水 多嘉子（がん研究会有明病院 看護部長）

学術集会現地参加の皆様へ

1. 「配信・抄録閲覧システム」のご案内

下記 URL または QR コードにアクセスし、ご自身の参加登録番号とパスワードを入力してログインください。

Microsoft Edge・Google Chrome・Firefox の各最新版のいずれかをご利用ください。

yahoo アプリはご利用いただけませんのでご注意ください。

URL : https://a-youme.net/jscn/entry/c_movie37/login_do.php

QR コード



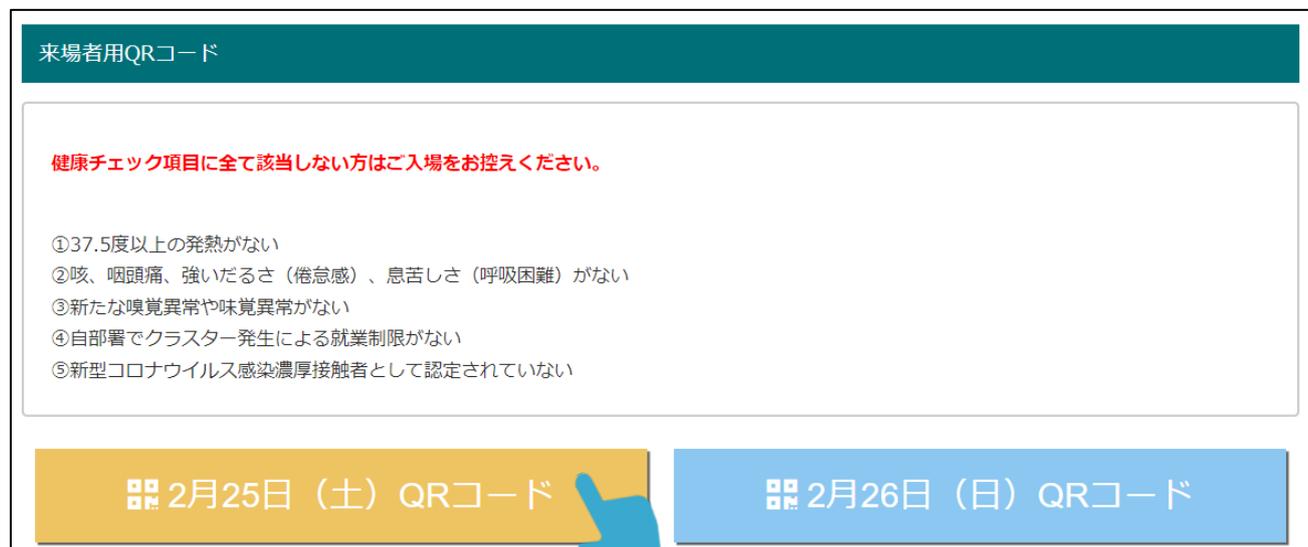
2. 来場前の健康チェックと入場受付方法

① 「配信・抄録閲覧システム」にログインする

② 「参加証・領収証・来場者 QR コード」のボタンをクリック



③参加する日程の「QR コード」ボタンをクリックする



④健康チェック項目に全て該当した方は「入場受付」（パシフィコ横浜ノース 3階フォワイエ）で来場者用 QR コードを QR コードリーダーに提示ください。



⑤ご登録いただいた所属・氏名が入った名札が印字されます。

※25日（土）、26日（日）の両日ともご参加される場合は、各日ごとに「入場受付」いただくようお願いします。

3. 入場受付時間

場所	2月25日（土）	2月26日（日）
パシフィコ横浜ノース 3階フォワイエ	8：45～17：00	8：30～15：30

4. 参加証・領収証

発行期間：2023年2月25日（土）～4月28日（金）17：00

参加証・領収証は「配信・抄録閲覧システム」よりご自身で印刷をお願いします。

会場での参加証・領収書のお渡しはしておりませんので、ご了承ください。

5. Wi-Fiのご案内

パシフィコ横浜ノースでは、パスワードなしでWi-Fi、無線LAN接続が可能です。

SSID：FREE-PACIFICO-NORTH

対象エリア：多目的ホール、付帯室、会議室、ガーデンラウンジ、フォワイエ

6. 会場内での感染防止対策のお願い

- ・会場内ではマスクをご着用ください。また、マスクは会場内のごみ箱には捨てず、お持ち帰りいただくようお願いいたします。
- ・受付前・各講演会場前は手指消毒を設置しておりますので、こまめな手洗い・手指消毒・咳エチケットの徹底をお願いいたします。
- ・トイレ内のハンドドライヤーは運転を停止しておりますので、ハンカチ等をご持参ください。

7. 昼食について

- ・学術集会での食事提供はございません。また、会場内の食事は厳禁です。

8. e-poster 閲覧コーナー

ipad を設置しておりますので、ポスターを閲覧頂けます。

場所	2月25日(土)	2月26日(日)
パシフィコ横浜ノース 3階 G312+G313	10:00~17:00	9:00~16:00

9. 企業展示

場所		2月25日(土)	2月26日(日)
企業展示1	パシフィコ横浜ノース 3階 G312+G313	10:00~17:00	9:00~16:00
企業展示2	パシフィコ横浜ノース 3階フォワイエ		
企業展示3	パシフィコ横浜ノース 4階フォワイエ		

10. クロークについて

場所	2月25日(土)	2月26日(日)
パシフィコ横浜ノース 2階 G213	8:45~18:15	8:30~16:15

- ・貴重品、PC、傘のお預かりはできませんので、予めご了承ください。
- ・荷物は当日中にお引き取り頂くようお願いいたします。

11. 注意事項

- ・本学術集会より宿泊予約手配はございません。ご宿泊の場合は、ご自身でご手配をお願いします。
- ・ライブ配信・オンデマンド配信がある会場ではご質問の音声・後方からの映像（お顔は映りません）を収録・配信することをご了承ください。
- ・講演会場内での写真撮影、録音・ビデオ撮影を固く禁止します。
- ・会期後2日以内に新型コロナウイルスの陽性反応が出た場合、必ず運営事務局までご連絡ください。



ライブ配信あり



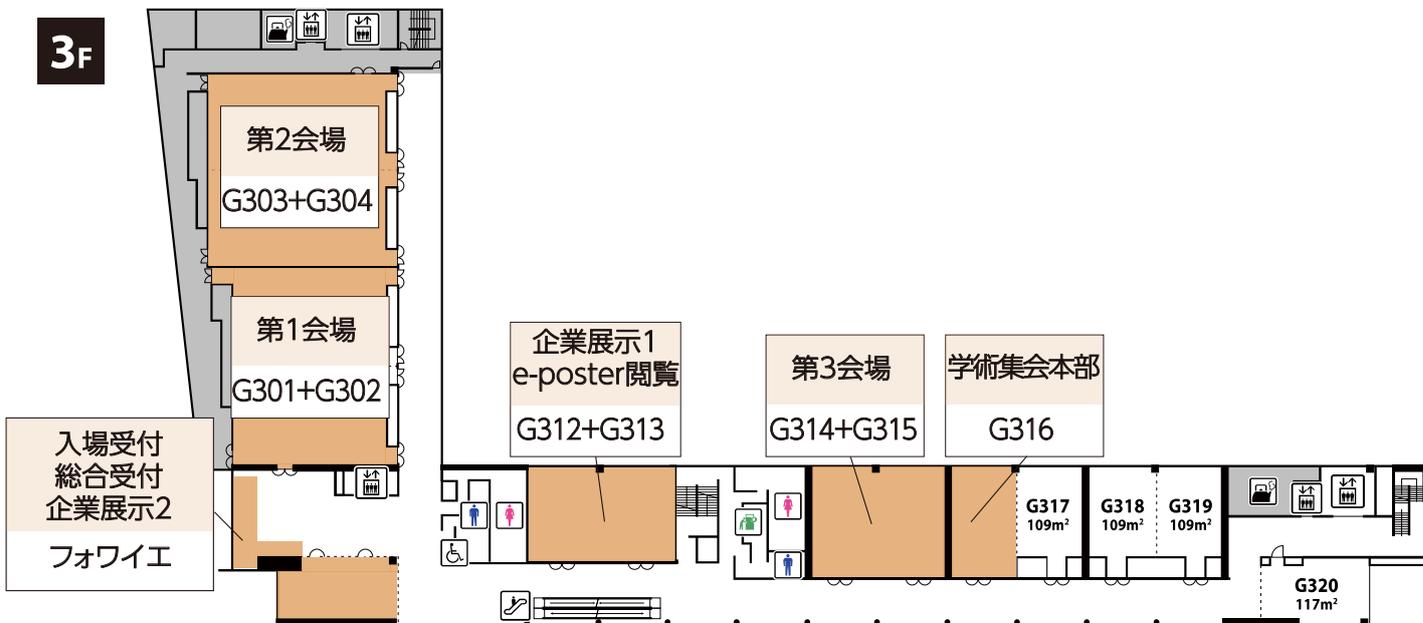
会期後オンデマンド配信あり
(3月9日(木)9:30~3月31日(金)17:00)

第1会場	G301+G302	9:30-10:00 会長講演 特別講演1 Fukushimaの心も強く 病気の自己と患者の向き合い 講師:清水 多寿子	10:00-11:00 特別講演1 Fukushimaの心も強く 病気の自己と患者の向き合い 講師:清水 多寿子	11:00-12:10 教育講演1 【事例研究】への臨床学的アプローチ 講師:神崎 哲也	12:30-13:30 教育セミナー1 脳神経の成長と神経を結ぶ 講師:井筒 千裕	13:40-14:40 パネリディスカッション2 地域における高齢がん患者の暮らしを支える 〜多様な場での安心を支える取組から〜 講師:田代 高樹	15:50-16:50 教育講演2 50歳以上のがん患者の生活の質を向上させる 〜緩和ケアと在宅医療の連携〜 講師:佐々木 美夕紀	17:00-18:10 総会・表彰式
	第2会場	G303+G304	9:20-9:30 オリエンテーション 開会式 がん患者の持つ力を最大限に活用する看護 講師:清水 多寿子	10:00-11:00 パネリディスカッション1 再発・進行期患者のエンパワーメントを考える 講師:佐々木 美夕紀	12:30-13:30 教育セミナー2 がんの学際的アプローチ 講師:井筒 千裕	13:40-14:40 シンポジウム1 未来を拓くがん看護の本質 〜これからの学び、そして未来へ〜 講師:長瀬 直子	15:50-16:50 教育講演3 急性期病棟から在宅医療へ 〜連携とケアの重要性〜 講師:上野 美夕紀	
第3会場	G314+G315	10:00-11:00 講演 第1群 総決意1 講師:中村 めぐみ	11:10-12:10 講演 第2群 総決意2 講師:津山 晶子	12:30-13:30 教育セミナー3 がんの緩和ケアの重要性 講師:長瀬 直子	13:40-14:40 講演 第3群 意思決定3/倫理的課題 講師:藤原 由伸	14:50-15:50 講演 第4群 放射線療法 講師:堀越 政孝		
第4会場	G401	10:00-11:00 講演 第5群 COVID-19に共通するがん看護 外来看護1 講師:柳川 郁子	11:10-12:10 講演 第6群 外来看護2 講師:北野 真子	12:30-13:30 教育セミナー4 がんの緩和ケアの重要性 講師:長瀬 直子	13:40-14:40 講演 第7群 外来看護3 講師:長瀬 直子	14:50-15:50 講演 第8群 外来看護4 講師:角田 伊美		
第5会場	G402	10:00-11:00 講演 第9群 高齢者のがん 講師:森本 依子	11:10-12:10 講演 第10群 小児・若年者のがん 講師:庄村 雅子	12:30-13:30 教育セミナー5 がんの緩和ケアの重要性 講師:長瀬 直子	13:40-15:40 3学術集会合同企画1 Gene Awareness 〜遺伝性腫瘍患者・家族のケアの充実に向けて〜 講師:大宮 陽子	16:00-16:45 新社員総会		
第6会場	G403	10:00-11:00 講演 第11群 小児・若年者のがん 講師:庄村 雅子	11:10-12:10 講演 第12群 小児・若年者のがん 講師:庄村 雅子	12:30-13:30 教育セミナー6 がんの緩和ケアの重要性 講師:長瀬 直子	13:40-15:10 SIGフォーラム 〜自分の関心のある分野と仲間を見つけて〜 講師:長瀬 直子	15:20-16:20 将来戦略推進委員会 社会連携活動計画 〜学際的連携の推進〜 講師:長瀬 直子		
第7会場	G404	10:00-11:00 教育研究活動委員会主催セミナー がん看護の質的向上 講師:長瀬 直子	11:10-12:10 講演 第13群 がんの緩和ケアの重要性 講師:長瀬 直子	12:30-13:30 教育セミナー7 がんの緩和ケアの重要性 講師:長瀬 直子	13:40-15:10 ガイドライン委員会主催シンポジウム がん緩和ケアの重要性 講師:長瀬 直子	15:20-16:20 国際活動委員会 がん看護の質的向上 講師:長瀬 直子		
第8会場	G412	10:00-12:00 交流集会1 がん看護の中にゲノム医療を浸透させていこう 〜院内教育システムの構築を考える〜	12:30-16:15 フリースペース	12:30-13:30 教育セミナー8 がんの緩和ケアの重要性 講師:長瀬 直子	13:40-14:40 交流集会2 がん看護の質的向上 講師:長瀬 直子	14:50-15:50 交流集会3 がん看護の質的向上 講師:長瀬 直子		
第9会場	G413	10:00-12:00 交流集会2 マーガレット・ニューマン理論に導かれたがん 〜多様な現場の垣根を越え、がん患者・家族の持つ力を支えることができるのか?〜	12:30-16:15 フリースペース	12:30-13:30 教育セミナー9 がんの緩和ケアの重要性 講師:長瀬 直子	13:40-14:40 交流集会4 がん看護の質的向上 講師:長瀬 直子	14:50-15:50 交流集会5 がん看護の質的向上 講師:長瀬 直子		
第10会場	G414	10:00-12:00 交流集会3 住み慣れた「居場所」での看護を支える「看護」の工夫と知恵 〜その時々々の看護を支えるために必要なことを考える〜	12:30-16:15 フリースペース	12:30-13:30 教育セミナー10 がんの緩和ケアの重要性 講師:長瀬 直子	13:40-14:40 交流集会6 COVID-19蔓延下での がん緩和ケアの重要性 講師:長瀬 直子	14:50-15:50 交流集会7 患者の力を引き出す ヘルパースタッフ		
3F	G312+G313	企業展示1 e-poster閲覧	12:30-16:15 フリースペース	12:30-13:30 教育セミナー11 がんの緩和ケアの重要性 講師:長瀬 直子	13:40-14:40 交流集会7 がん看護の質的向上 講師:長瀬 直子	14:50-15:50 交流集会8 がん看護の質的向上 講師:長瀬 直子		
4F	3Fフォーアイ	企業展示2	12:30-16:15 フリースペース	12:30-13:30 教育セミナー12 がんの緩和ケアの重要性 講師:長瀬 直子	13:40-14:40 交流集会8 がん看護の質的向上 講師:長瀬 直子	14:50-15:50 交流集会9 がん看護の質的向上 講師:長瀬 直子		
4F	4Fフォーアイ	企業展示3	12:30-16:15 フリースペース	12:30-13:30 教育セミナー13 がんの緩和ケアの重要性 講師:長瀬 直子	13:40-14:40 交流集会9 がん看護の質的向上 講師:長瀬 直子	14:50-15:50 交流集会10 がん看護の質的向上 講師:長瀬 直子		

2F



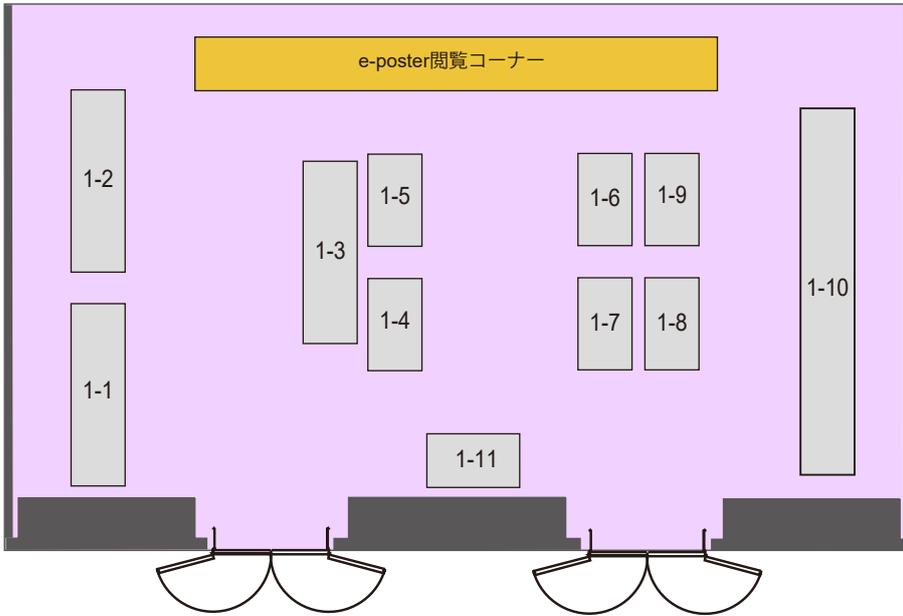
3F



4F



企業展示1・e-poster閲覧コーナー：3階 G312+G313



【出展社一覧】

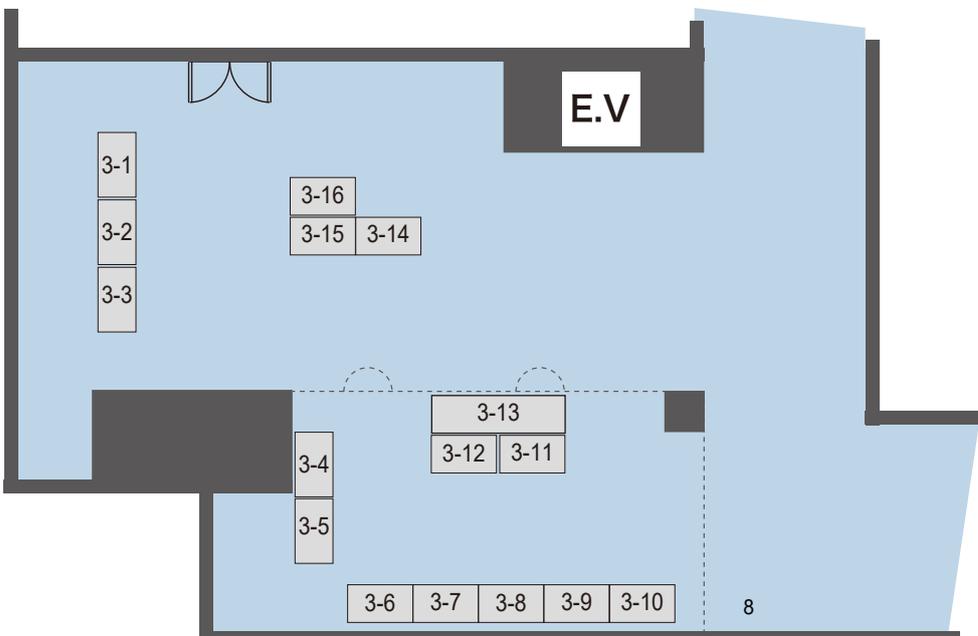
1-1	中外製薬株式会社
1-2	日本臓器製薬
1-3	株式会社メルシー
1-4	株式会社名優
1-5	株式会社スヴェンソン
1-6	TOTO 株式会社
1-7	小野薬品工業株式会社
1-8	O&M Halyard Japan 合同会社
1-9	株式会社アデランス
1-10	ファイザー株式会社
1-11	ホリスティックケアプロフェッショナルスクール

企業展示2：3階フォワイエ



2-1	第一三共ヘルスケア株式会社
2-2	メディ・ジャパン株式会社
2-3	ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社
2-4	株式会社コバヤシ
2-5	シオノギファーマ株式会社
2-6	MALIBU WIG
2-7	株式会社メディコン
2-8	株式会社レオクラン

企業展示3：4階フォワイエ



3-1	株式会社ツムラ
3-2	株式会社ジェイ・エム・エス
3-3	持田ヘルスケア株式会社
3-4	株式会社 VIP グローバル
3-5	ディビューラメディカルソリューションズ株式会社
3-6	助野株式会社
3-7	Meiji Seika ファルマ株式会社
3-8	原田産業株式会社
3-9	テルモ株式会社
3-10	株式会社アトスメディカルジャパン
3-11	株式会社アートネイチャー
3-12	バクスター株式会社
3-13	株式会社池山メディカルジャパン
3-14	株式会社ヒュー・メックス
3-15	エア・ウォーター株式会社
3-16	ナック商会株式会社

会長講演、特別講演

会長講演 2月25日(土) 9:30~10:00 第1会場 (パシフィコ横浜ノースG301+G302)

がん患者の持つ力を見出し支援する看護

座長：鈴木 久美 (大阪医科薬科大学 看護学部 教授)

講師：清水 多嘉子 (がん研究会有明病院 看護部長・副院長)

特別講演1 2月25日(土) 10:00~11:00 第1会場 (パシフィコ横浜ノースG301+G302)

F. Nightingaleよりひも解く病気の見方と患者の生きる力

座長：清水 多嘉子 (がん研究会有明病院 看護部長・副院長)

講師：和住 淑子 (千葉大学 大学院看護学研究院 教授)

特別講演2 2月26日(日) 9:10~10:10 第1会場 (パシフィコ横浜ノースG301+G302)

喪失からの回復・成長 ~子どもの教育の視点から~

座長：加藤 恵 (武蔵野赤十字病院 看護副部長/がん看護専門看護師)

講師：副島 賢和 (昭和大学 大学院保健医療学研究科 准教授)

教育講演

教育講演1 2月25日(土) 11:10~12:10 第1会場 (パシフィコ横浜ノースG301+G302)

「事例研究」への現象学的アプローチ

座長：鈴木 美穂 (慶應義塾大学看護医療学部 教授)

講師：榊原 哲也 (東京女子大学 現代教養学部人文学科哲学専攻 教授)

教育講演2 2月25日(土) 15:50~16:50 第1会場 (パシフィコ横浜ノースG301+G302)

人生100年時代 生き抜く!生き抜ける? ~健康長寿だけではなく幸福長寿実現のために~

座長：矢ヶ崎 香 (慶應義塾大学 看護医療学部 教授)

講師：飯島 勝矢 (東京大学 高齢社会総合研究機構 機構長、未来ビジョン研究センター 教授)

教育講演3 2月25日(土) 15:50~16:50 第2会場 (パシフィコ横浜ノースG303+G304)

急性放射線皮膚炎へのケアに対する知識をUp-to-date

座長：上間 美夕紀 (がん研究会有明病院 副看護師長/がん看護専門看護師)

講師：日浅 友裕 (中京学院大学 看護学部 准教授/がん看護専門看護師・がん放射線療法看護認定看護師)

教育講演4 2月26日(日) 10:20~11:20 第1会場 (パシフィコ横浜ノースG301+G302)

がん医療に必要なヘルスリテラシー

座長：荒尾 晴恵 (大阪大学大学院 医学系研究科 教授)

講師：中山 和弘 (聖路加国際大学大学院看護学研究科 看護情報学分野 教授)

教育講演5 2月26日(日) 12:40~13:40 第1会場 (パシフィコ横浜ノースG301+G302)

がん看護に活かすヘルスアセスメント:臨床推論

座長：松原 康美 (北里大学 看護学部 准教授/がん看護専門看護師・皮膚・排泄ケア認定看護師)

講師：山花 令子 (国立がん研究センター東病院 がん看護専門看護師)

教育講演6 2月26日(日) 14:50~15:50 第2会場 (パシフィコ横浜ノースG303+G304)

がん看護実践者のストレスマネジメント~患者の持つ力を支援するために~

座長：宗定 水奈子 (東京純心大学 看護学部 講師/がん看護専門看護師)

講師：鈴木 梢 (東京都立駒込病院 緩和ケア科 医長)

シンポジウム

シンポジウム1 2月25日(土) 13:40~15:40 第2会場 (パシフィコ横浜ノースG303+G304)

未来を拓くがん看護の本質 ～これまでの歩み、そして未来へ～

座長：濱口 恵子 (がん研究会有明病院/がん看護専門看護師)
渡邊 眞理 (湘南医療大学 保健医療学部 看護学科 教授/がん看護専門看護師)
人間尊重のがん看護・緩和ケアの定着を目指して

シンポジスト：石垣 靖子 (北海道医療大学 名誉教授、日本がん看護学会 名誉会員)
個人の経験を丁寧に振り返ることから

シンポジスト：秋山 正子 (認定NPO法人マギーズ東京 マギーズセンター
CSS(がんサポーター・サポートスペシャリスト) 共同代表理事・センター長/
(株)ケアーズ 代表取締役/白十字訪問看護ステーション統括所長)

人々とともに創るがん看護

シンポジスト：小松 浩子 (日本赤十字九州国際看護大学 学長)

シンポジウム2 2月26日(日) 9:10~11:10 第2会場 (パシフィコ横浜ノースG303+G304)

第4期がん対策推進基本計画から考えるがん看護の未来

座長：小澤 桂子 (NTT東日本関東病院 看護師長/がん看護専門看護師)
増島 麻里子 (千葉大学 大学院看護学研究院 教授)
第4期がん対策推進基本計画について

シンポジスト：原澤 朋史 (厚生労働省健康局がん・疾病対策課 がん対策推進官)
これからの緩和ケアーいつでも、どこでも、必要なときに、
質の高い緩和ケアをうけることができるために

シンポジスト：木澤 義之 (筑波大学 医学医療系 教授)
第4期がん対策推進基本計画において看護師が担う役割

シンポジスト：田村 恵子 (京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 教授/がん看護専門看護師)
希少がん患者支援から看護に期待すること

シンポジスト：大西 啓之 (特定非営利活動法人キュアサルコーマ 理事長)

シンポジウム3 2月26日(日) 13:50~15:50 第1会場 (パシフィコ横浜ノースG301+G302)

治療後の暮らし ～頭頸部がん治療の体験から～

座長：祖父江 由紀子 (東邦大学医療センター大森病院 主任/がん看護専門看護師)
後藤 志保 (がん研究会有明病院 看護師長/がん看護専門看護師)
頭頸部がん手術の影響とその支援

シンポジスト：岩井 美世子 (名古屋大学大学院医学系研究科 総合保健学専攻高度実践看護開発学講座
博士後期課程/がん看護専門看護師)

看護師のみなさまに届けたい「がん患者」としての体験とその想い

シンポジスト：跡部 涼子 (がん体験者)
下咽頭癌の手術を受けた私が届けたい「声」

シンポジスト：千葉 治郎 (がん体験者)
がんになっても自分らしく働く～当事者と就労支援の立場から～

シンポジスト：砂川 未夏 (がんサポーター・キャリア 代表)

パネルディスカッション

パネルディスカッション1 2月25日(土) 10:00~12:00 第2会場(パシフィコ横浜ノースG303+G304)

再発・進行期患者のエンパワーメントを考える

座長: 渡邊 知映(昭和专业 保健医療学部 教授)

森 文子(国立がん研究センター中央病院 副看護部長/がん看護専門看護師)

がん治療医は患者の伴走者として何をなすべきか?

パネリスト: 佐々木 治一郎(北里大学医学部附属新世紀医療開発センター

横断的医療領域開発部門臨床腫瘍学 教授)

肺がん患者の会ワンステップの目指すもの

パネリスト: 長谷川 一男(NPO法人肺がん患者の会ワンステップ 理事長)

再発・進行期患者のエンパワーメントを考える 看護師の立場から

パネリスト: 飯田 郁実(国立がん研究センター中央病院 副看護部長/がん看護専門看護師)

「人が自らをエンパワーメントすること」を支える

パネリスト: 福地 智巴(静岡県立静岡がんセンターよろず相談/Maggie's 東京)

パネルディスカッション2 2月25日(土) 13:40~15:40 第1会場(パシフィコ横浜ノースG301+G302)

地域における高齢がん患者の暮らしを支える~多様な場での安心を支える取り組み~

座長: 田代 真理(聖路加国際大学教育センター/悠翔会在宅クリニック新橋/がん看護専門看護師)

熊谷 靖代(野村訪問看護ステーション 主任/がん看護専門看護師)

高齢がん患者の希望する療養を支えるため、理想と現実の間でもがき苦しむ私たちは

どうしたらいいのだろうか

パネリスト: 廣橋 猛(永寿総合病院 がん診療支援・緩和ケアセンター センター長)

高齢がん患者の暮らしに医療的ケアを届けるホスピス住宅の挑戦

パネリスト: 梅田 恵(ファミリー・ホスピス株式会社 品質管理室 執行役員、副社長/がん看護専門看護師)

都市部の高齢がん患者を支える包括的なケアを目指す訪問看護の取り組み

パネリスト: 佐藤 直子(東京ひかりナースステーション クオリティマネジメント部 部長/在宅看護専門看護師)

へき地とされる住み慣れた地域で暮らす高齢がん患者を支えること

パネリスト: 高橋 利果(未来かなえ訪問看護ステーション「すみちゃん」 所長/がん看護専門看護師)

パネルディスカッション3 2月26日(日) 12:40~14:40 第2会場(パシフィコ横浜ノースG303+G304)

がん患者の持つ力に沿った意思決定支援のアウトカム

座長: 村上 好恵(東邦大学看護学部 教授)

上垣 美江(東京都立駒込病院 看護部長/がん性疼痛看護認定看護師)

ディシジョンエイドを活用した意思決定支援におけるアウトカム

パネリスト: 大坂 和可子(慶應義塾大学 看護医療学部 准教授)

在宅療養中のがん患者に対する意思決定支援

パネリスト: 浅海 くるみ(東京工科大学 医療保健学部看護学科 講師)

患者の意向を真ん中に地域で紡ぐACP支援~何を大切に、何を指すか

パネリスト: 江口 恵子(社会医療法人博愛会相良病院 顧問)

意思決定支援のアウトカム - 臨床倫理の視点から

パネリスト: 会田 薫子(東京大学大学院人文社会系研究科 死生学・応用倫理センター上廣講座 特任教授)

3学術集会合同企画

3学術集会合同企画1 2月25日(土) 13:40~15:40 第5会場 (パシフィコ横浜ノースG402)
(第37回日本がん看護学会学術集会、第31回日本乳癌学会学術総会、第47回日本遺伝カウンセリング学会学術集会)

Gene Awareness ~遺伝腫瘍患者・家族のケアの充実に向けて~

座長：大友 陽子 (がん研究会有明病院 副看護師長/がん看護専門看護師)
北川 大 (国立国際医療研究センター病院 乳腺内分泌外科 診療科長)
田辺 記子 (国立がん研究センター中央病院 遺伝子診療部門認定遺伝カウンセラー)
講師：稲荷 均 (がん研究会有明病院 乳腺外科 医長)
大川 恵 (聖路加国際病院 遺伝看護専門看護師)
幅野 愛理 (がん研究会有明病院 臨床遺伝医療部 認定遺伝カウンセラー)
三須 久美子 (慶應義塾大学病院 看護師 認定遺伝カウンセラー)
黄瀬 恵美子 (信州大学医学部附属病院 看護師 認定遺伝カウンセラー)
松本 恵 (長崎大学病院 腫瘍外科 講師)
太宰 牧子 (特定非営利活動法人クラヴィスアルクス/一般社団法人ゲノム医療当事者団体連合会 理事長)

3学術集会合同企画2 2月26日(日) 12:40~14:40 第5会場 (パシフィコ横浜ノースG402)
(第37回日本がん看護学会学術集会、第31回日本乳癌学会学術総会、第28回日本緩和医療学会学術大会)

多職種でがん患者を支えるアドバンス・ケア・プランニング~実態調査結果から現状と課題を考える~

座長：長崎 礼子 (がん研究会有明病院 看護師長/がん化学療法看護認定看護師)
品田 雄市 (東京医科大学八王子医療センター 総合相談・支援センター 課長補佐/医療ソーシャルワーカー)
相良 安昭 (社会医療法人博愛会相良病院 乳腺・甲状腺外科 院長)
講師：桜井 なおみ (キャンサーソリューションズ株式会社 代表取締役社長)
小林 隆之 (がん研有明病院 乳腺内科 副部長)
仁井山 由香 (広島市立広島市民病院 主任看護師/がん看護専門看護師)
坂本 はと恵 (国立がん研究センター東病院 サポートケアセンター
副サポートケアセンター長/医療ソーシャルワーカー)

委員会企画

編集委員会主催研修会 2月26日(日) 14:20~15:20 第7会場 (パシフィコ横浜ノースG404)

採択される質的研究論文を書くために押さえておきたいポイント

座長：佐藤 まゆみ (順天堂大学大学院医療看護学研究科 教授)
講師：秋元 典子 (甲南女子大学 学長)

教育研究活動委員会主催セミナー 2月25日(土) 10:00~11:00 第7会場 (パシフィコ横浜ノースG404)

がん看護の実践から研究まで使える患者報告アウトカム

座長：糸川 紅子 (日本赤十字秋田看護大学)
講師：宮下 光令 (東北大学大学院医学系研究科 教授)

海外研修会 2月26日(日) 14:50~15:50 第5会場 (パシフィコ横浜ノースG402)

がん患者と家族のアドボケイト: 医療と地域社会におけるがん看護CNSの活動

座長：梅田 恵 (教育研究活動委員会 委員長)
講師：Deborah (Debby) Hamolsky RN, MSN

国際活動委員会主催シンポジウム 2月25日(土) 15:20~16:20 第7会場 (パシフィコ横浜ノースG404)

がん患者の生きる力を引き出す東洋における医療文化の魅力

座長：水野 道代 (筑波大学)
鈴木 美穂 (慶應義塾大学)
シンポジスト：HU, Wenyu (Professor, Chair, School of Nursing, National Taiwan University)
SO, Winnie KW (Professor, Chinese University of Hong Kong; President,
International Society of Nurses in Cancer Care)
宮坂 文緒 (神奈川県立がんセンター 漢方サポートセンター 看護師)

SIGフォーラム 2月25日(土) 13:40~15:10 第6会場 (パシフィコ横浜ノースG403)

～自分の関心のある分野と仲間を見つけよう～
紹介：国府 浩子 (日本がん看護学会SIG担当理事)

ガイドライン委員会主催シンポジウム 2月25日(土) 13:40~15:10 第7会場 (パシフィコ横浜ノースG404)

がん薬物療法に伴う血管外漏出に関する予防、発見、管理のup to date
～日本がん看護学会、日本臨床腫瘍学会、日本臨床腫瘍薬学会合同ガイドライン2023年版より～
座長：飯野 京子 (ガイドライン委員会副委員長, 国立看護大学校)
矢ヶ崎 香 (ガイドライン委員会委員長, 慶應義塾大学)
シンポジスト：菅野 かおり (日本がん看護学会、公益社団法人 日本看護協会 神戸研修センター)
松本 光史 (日本臨床腫瘍学会、兵庫県立がんセンター)
龍島 靖明 (日本臨床腫瘍薬学会、独立行政法人 国立病院機構 埼玉病院)

がん看護技術開発委員会主催シンポジウム 2月26日(日) 9:10~10:40 第7会場 (パシフィコ横浜ノースG404)

がん看護に関わるCNS・CNの活躍の場を広げる取り組み
～「がん患者指導管理料イ・ロ」の更なる発展に向けて～
座長：森 文子 (がん看護技術開発委員会委員長、国立がん研究センター中央病院・副看護部長
/がん看護専門看護師)
シンポジスト：吉田 詩織 (東北大学大学院医学系研究科がん看護学分野・助教)
堀口 沙希 (国立がん研究センター中央病院・がん看護専門看護師)
細矢 美紀 (がん看護技術開発委員会委員、国立がん研究センター中央病院・看護部長
/がん看護専門看護師)

災害対策委員会主催研修会 2月26日(日) 12:40~14:10 第7会場 (パシフィコ横浜ノースG404)

コロナ禍において創出された外来がん薬物療法を受ける患者・家族へのケア
座長：今津 陽子 (東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科/災害対策委員会委員)
荒尾 晴恵 (大阪大学大学院医学系研究科/災害対策委員会委員長)
講師：中山 祐紀子 (医療法人社団杏順会越川病院看護部/災害対策委員会委員)
浅野 耕太 (京都第二赤十字病院 がん看護専門看護師)
平松 玉江 (国立がん研究センター東病院 感染症看護専門看護師)

将来構想推進委員会社会連携活動企画 2月25日(土) 15:20~16:20 第6会場 (パシフィコ横浜ノースG403)

学会と当事者団体の連携のあり方を考える
～第一弾：AYA世代がん患者の支援者とともに～
座長：荒尾 晴恵 (大阪大学大学院医学系研究科/JSCN副理事長、将来構想拡大会議副委員長)
遠藤 久美 (静岡県立静岡がんセンター/JSCN将来構想推進委員会委員)
講師：岸田 徹 (NPO法人がんノート代表)
多和田 奈津子 (若年がん患者会ローズマリー世話人代表/一般社団法人グループ・ネクサス・ジャパン理事)
津村 明美 (認定NPO法人 横浜こどもホスピスプロジェクト
/JSCN小児・AYA世代がん看護SIGメンバー)

一般演題 (口演)

第1群 意思決定1 2月25日(土) 10:00~11:00 第3会場 (パシフィコ横浜ノースG314+G315)

座長：中村 めぐみ (聖路加国際大学)
01-1 急性期病棟の看護師が行う終末期がん患者の意向確認
今井 ユミ (高知赤十字病院)
01-2 終末期患者と家族のDNAR意思決定プロセスへの関わりにおける一考察
山崎 恵 (公立豊岡病院組合立豊岡病院 看護部)
01-3 骨髄異形成症候群の患者へエンド・オブ・ライフ・ディスカッションを行う
看護師の構えに関する要因の検討
榎 詩織 (独立行政法人国立病院機構鹿児島医療センター)
01-4 治療終決の見極めが難しい時期にある進行・再発がん患者のその人らしい生き方を支える
がん看護専門看護師の実践
松永 有貴 (地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター)

- 01-5 ティッシュエキスパンダーを用いて一次乳房再建術を受けた乳がん患者の術式選択に至る意思決定プロセス
真野 登子（新潟大学医歯学総合病院）

第2群 意思決定2 2月25日（土）11:10～12:10 第3会場（パシフィコ横浜ノースG314+G315）

座 長：煙山 晶子（秋田大学大学院）

- 02-6 ペプチド受容体放射性核種療法外来を振り返って見えてきた患者支援
服部 悦子（関西電力株式会社 関西電力病院）
- 02-7 患者の思いを実現できた外来看護の取り組み
白鷺 美妃（中国電力株式会社 中電病院）
- 02-8 胚凍結保存を希望するトリプルネガティブ乳がんの患者の意思決定支援
池見 亜也子（筑波大学附属病院）
- 02-9 悪性脳腫瘍患者に対する治療法や療養の場を選択する際の配偶者の意思決定に関連する認識
上尾 愛（社会医療法人敬和会大分岡病院）
- 02-10 患者の語りを促し、強みに気づかせ、思いを前向きに整えた意思決定支援
～がん薬物療法を拒んだ骨髄異形成症候群のA氏の事例～
菊池 祥子（東京女子医科大学病院）

第3群 意思決定3/倫理的問題 2月25日（土）13:40～14:40 第3会場（パシフィコ横浜ノースG314+G315）

座 長：藤原 由佳（NPO法人神戸なごみの家/訪問看護ステーションあざんて・はな）

- 03-11 乳がん術前患者と医師間のコミュニケーションギャップの実態把握
小林 洋子（株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所）
- 03-12 新型コロナウイルス感染症流行下における終末期がん患者の療養の場に関する意思決定の実態
専坊 ゆかり（安芸地区医師会訪問看護ステーション）
- 03-13 一般病棟看護師のがん患者に対するACPの認識と実践
佐藤 晴香（東京都立墨東病院 看護部）
- 03-14 意識障害やせん妄を有するがん患者に対する身体抑制の適確性を評価するための取り組み
大山 綾香（国立がん研究センター中央病院）
- 03-15 最期まで悪い知らせを聞きたくない意向を示し続けたがん患者への実践
～知らないでいる権利を最大限に尊重するための関わり～
前田 智樹（独立行政法人 国立病院機構 福山医療センター）

第4群 放射線療法 2月25日（土）14:50～15:50 第3会場（パシフィコ横浜ノースG314+G315）

座 長：堀越 政孝（群馬バース大学看護学部看護学科）

- 04-16 放射線治療病室以外の特別な措置を講じた病室において
PRRT療法を安全に実施できた看護実践について
富永 沙耶香（国立がん研究センター中央病院 看護部 18階病棟）
- 04-17 乳がん患者の放射線皮膚炎の現状と保湿剤使用効果に関する調査報告
赤石 真由美（神戸低侵襲がん医療センター）
- 04-18 婦人科がんに対する組織内併用腔内照射における鎮痛・鎮静の実態と
患者参加型鎮痛・鎮静評価システム導入の効果
高野 亜美（国立がん研究センター中央病院）
- 04-19 頭頸部がん化学放射線治療における目標体重を明示した栄養管理が与える効果
門脇 美佳（東北大学病院 看護部）
- 04-20 頭頸部がんサバイバーが生活体験から見出した晩期有害事象への対処行動
源河 朝治（公立大学法人 沖縄県立看護大学）

第5群 COVID-19に関連するがん看護 2月25日（土）10:00～11:00 第4会場（パシフィコ横浜ノースG401）

座 長：鴨川 郁子（がん研究会有明病院）

- 05-21 COVID-19対策における面会制限が入院中の終末期がん患者にもたらした全人的影響
～病棟看護師の視点から～
中井 真由美（独立行政法人 国立病院機構 名古屋医療センター）
- 05-22 地方がん拠点病院においてコロナ禍で外来化学療法を受ける患者の思いと受診行動への影響要因
渡壁 美香（独立行政法人労働者健康安全機構 香川労災病院）

- 05-23 コロナ禍で仕事をしながら通院治療を受けるがん患者の現状から得られた看護支援
森重 ひろみ（川崎医科大学総合医療センター）
- 05-24 COVID-19蔓延下におけるがん化学療法看護認定看護師活動への影響
勝連 勝（小張総合病院）
- 05-25 新型コロナウイルス感染拡大に伴うがん治療・看護への影響の変化
-第1波終了時と第7波開始前時点のWeb調査から-
今津 陽子（日本がん看護学会 令和4年度 災害対策委員会、
日本がん看護学会 令和2年度災害対策委員会、
東京医科歯科大学大学院 保健衛生学研究科）

第6群 外来看護1 2月25日（土）11:10～12:10 第4会場（パシフィコ横浜ノースG401）

座 長：本山 清美（静岡県立静岡がんセンター）

- 06-26 外来看護師と訪問看護師の連携強化を目指して～電話での情報提供システムの構築に取り組んで～
鈴木 めぐみ（がん研究会有明病院）
- 06-27 がん専門病院の外来看護師の痛みのケアに関する現状調査
田口 恵美子（国立がん研究センター東病院 看護部）
- 06-28 レスキュー薬に抵抗を示す外来通院する婦人科がん患者への疼痛緩和支援
松本 浩美（自治医科大学附属病院 看護部）
- 06-29 「がん看護外来」の開設の取り組み
飯塚 由美子（自治医科大学附属病院 看護部）
- 06-30 がん看護相談外来を通して生きるすべをみいだした1事例の報告
沼田 靖子（元市立釧路総合病院）

第7群 外来看護2 2月25日（土）13:40～14:40 第4会場（パシフィコ横浜ノースG401）

座 長：黒木 由里子（日本赤十字社医療センター）

- 07-31 がん患者の術前期における泣くという感情表出前後の心理
仲田 由美（愛媛県立中央病院）
- 07-32 外来化学療法室に携わる看護師が考えるACP
赤地 桂子（埼玉県済生会川口総合病院 外来化学療法室）
- 07-33 外来化学療法を受ける上部消化器がん患者の日常生活活動の変化
有松 夏子（千葉大学大学院 看護学研究科、千葉大学医学部附属病院 看護部）
- 07-34 がん性疼痛セルフマネジメントのためアプリケーションのユーザビリティ調査
奥出 有香子（順天堂大学医学部附属練馬病院、順天堂大学大学院）
- 07-35 外来化学療法オリエンテーションを行う看護師の実践
末川 理沙（昭和大学病院 看護部）

第8群 外来看護3/予防・スクリーニング 2月25日（土）14:50～15:50 第4会場（パシフィコ横浜ノースG401）

座 長：角田 明美（群馬大学医学部附属病院）

- 08-36 地域がん診療連携拠点病院の外来看護師が行うがん患者へのアセスメントに対する自己効力感と
関連要因
四井 博美（産業医科大学病院）
- 08-37 外来看護師が骨転移患者への生活支援を行う上での困難
山口 裕香（順天堂大学医学部附属順天堂医院 看護部）
- 08-38 アウトリーチを導入したがん看護外来の実践報告
吉川 恵（愛知県がんセンター）
- 08-39 A病院職員の乳がん検診受診状況と受診行動に影響する要因
林 未来（益田地域医療センター 医師会病院）
- 08-40 子宮頸がん検診受診者の受診経験
岡村 望有（千葉大学大学院 看護学研究科）

第9群 高齢者のがん 2月25日（土）10:00～11:00 第5会場（パシフィコ横浜ノースG402）

座 長：森本 悦子（甲南女子大学）

- 09-41 がん告知を受けた後期高齢者の受け止めと対処
佐藤 純子（北里大学保健衛生専門学院 保健看護科）

- 09-42 がん薬物療法を受ける進行肺がん高齢者の症状クラスターとQuality of Life:縦断観察研究
船戸 真衣 (慶應義塾大学大学院 健康マネジメント研究科後期博士課程)
- 09-43 高齢がん患者の手術療法に対する意思決定の様相
帆足 紘子 (大分大学 医学部 附属病院)
- 09-44 嚥下機能障害がある高齢胃がん術後患者を対象とした嚥下食フローチャートの有用性
妻木 浩美 (静岡県立静岡がんセンター 看護部)
- 09-45 「終末期における高齢がん患者とその家族への支援に関する一事例」
横山 あんり (藤田医科大学病院)

第10群 小児・若年者のがん1 2月25日(土) 10:00~11:00 第6会場 (パシフィコ横浜ノースG403)

座長: 庄村 雅子 (東海大学医学部看護学科)

- 010-46 がん告知後、不安を抱えたまま治療に臨むAYA世代患者への看護の振り返り
～フィンクの危機モデルを用いて～
小林 悠妃 (地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター)
- 010-47 術後補助化学療法後の妊娠許可時期の検討と妊娠に対する意思決定支援 -肺がん患者の1例-
宇土 しのぶ (慶應義塾大学病院 看護部)
- 010-48 AYA世代がん患者の真の問題把握から意思決定までのプロセス～親のがんを子供に伝える決断～
木村 恵 (産業医科大学病院 緩和ケアセンター)
- 010-49 妊孕性温存が不確かな中でがん薬物療法を受ける若年女性がん患者への看護実践
川上 喜美江 (公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院)
- 010-50 初期治療を受ける若年性乳がん患者が罹患に関する情報を子どもに伝える際の経験
小田 桃子 (順天堂大学医学部附属浦安病院)

第11群 小児・若年者のがん2 2月25日(土) 11:10~12:10 第6会場 (パシフィコ横浜ノースG403)

座長: 坂元 敦子 (公益財団法人佐々木研究所附属 杏雲堂病院)

- 011-51 AYA世代造血器腫瘍患者の看護に携わる同世代看護師の関わり
笈田 佳奈 (福井県立病院)
- 011-52 がん罹患した母親がソーシャルサポートを得て母親役割を再構築していく体験
細羽 祐依 (JCHO 東京新宿メディカルセンター)
- 011-53 診断・治療期のAYA世代がん患者をケアする看護師が直面する困難
谷口 麻帆 (医療法人 徳洲会 和泉市立総合医療センター)
- 011-54 妊孕性温存術後に再発したYA世代の卵巣がん患者の看護
～3分野の認定看護師(CN)による連携支援～
野地 静香 (福島赤十字病院)
- 011-55 治療を受けるAYA世代がん患者を支援する医療者の意識調査
松本 幸絵 (地方独立行政法人栃木県立がんセンター 緩和ケアセンター)

第12群 家族ケア 2月26日(日) 9:10~10:10 第3会場 (パシフィコ横浜ノースG314+G315)

座長: 射場 典子 (聖路加国際大学)

- 012-56 集中治療を受けるがん患者と家族に対する精神的支援に向けた取り組み
～患者と家族を繋ぐHCUダイアリーを導入して～
大塚 麻美子 (地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 埼玉県立がんセンター HCU病棟)
- 012-57 大腸がんStageⅣの後期高齢患者を支える家族への支援 ～患者を支える嫁の体験～
大前 文紀恵 (兵庫県立西宮病院)
- 012-58 意思決定することが難しい高齢がん患者の家族に対する代理意思決定支援のあり方の検討
-がん看護専門看護師の実践から-
西岡 由香里 (順天堂大学 医療看護学研究科)
- 012-59 母親の乳がんを伝えた後の思春期の子どもの反応と患者の子どもへの関わり
植村 未奈子 (多根総合病院 看護部)
- 012-60 再発造血器腫瘍患者が思春期の子どもに病気を伝えるプロセス
佐伯 玲菜 (公立大学法人 横浜市立大学附属病院)

第13群 サバイバーシップ 2月26日(日) 10:20~11:20 第3会場(パシフィコ横浜ノースG314+G315)

座長: 穉山 真理(日本医科大学付属病院)

- O13-61 舌がんサバイバーとしての対処能力
八田 理恵(金沢大学附属病院 看護部)
- O13-62 下肢リンパ浮腫を発症した婦人科がん患者が就労を継続する過程
河合 真里奈(静岡県立静岡がんセンター)
- O13-63 移植片対宿主病の不可逆的症候による苦悩を抱え生きる造血管腫瘍患者への看護実践
船瀬 満裕佳(静岡県立静岡がんセンター)
- O13-64 タキサン系抗がん剤による化学療法誘発性末梢神経障害に対する
対処法のオントロジーを構築する試み
中村 成美(大阪大学大学院医学系研究科 保健学専攻)
- O13-65 造血幹細胞移植を受けた患者の幹細胞への認識
関根 万里子(三重大学医学部附属病院)

第14群 薬物療法1 2月26日(日) 12:40~13:40 第3会場(パシフィコ横浜ノースG314+G315)

座長: 小西 美ゆき(千葉大学大学院看護学研究科)

- O14-66 安全な外来リツキシマブ療法初回導入に向けた認知症高齢患者への専門職チームアプローチ
野田 早智恵(藤田医科大学病院 看護部)
- O14-67 複雑化したレジメンや経験の少ないレジメンを確実に実施するための病棟看護師の実践と困難
吉田 まつみ(中津市立中津市民病院 看護部)
- O14-68 ホルモン療法を継続している再発乳がん患者の体験
南場 佳子(神戸市立医療センター中央市民病院 看護部)
- O14-69 外来化学療法を受ける高齢がん患者の生活に副作用が与える影響
酒徳 瑞穂(公益社団法人 地域医療振興協会 三重大立志摩病院)
- O14-70 加圧式医薬品注入器を使用した抗がん剤の投与管理の実態について
青木 沙耶(独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター)

第15群 薬物療法2 2月26日(日) 13:50~14:50 第3会場(パシフィコ横浜ノースG314+G315)

座長: 野村 美香(神奈川県立保健福祉大学)

- O15-71 タキサン系抗がん剤投与を受ける患者の末梢神経障害の程度と冷却療法のニーズ
飯田 郁実(国立がんセンター中央病院 看護部)
- O15-72 がん診療連携拠点病院における末梢神経障害予防目的の冷却療法に関する実態調査
飯田 郁実(国立がん研究センター中央病院 看護部)
- O15-73 化学療法を受けている膵臓がん患者の健康関連QOLの特徴と
栄養に関する指標・食の苦悩との関連
武田 洋子(山形大学大学院 医学系研究科 看護学専攻)
- O15-74 A病院外来化学療法室での抗がん剤曝露調査の結果とその対策について
高橋 由美(済生会新潟病院 看護部)
- O15-75 化学的刺激のある抗がん剤投与時の血管痛と末梢血管径の関係
一血管エコーを用いた血管径測定の結果から
水谷 多栄子(総合病院 中津川市民病院)

第16群 薬物療法3 2月26日(日) 15:00~15:50 第3会場(パシフィコ横浜ノースG314+G315)

座長: 市川 智里(国立がん研究センター東病院 看護部)

- O16-76 A病院における免疫チェックポイント阻害剤投与患者の
免疫関連有害事象の症状・徴候に関する調査
伊藤 直美(国立がん研究センター東病院 看護部)
- O16-77 A病院における免疫チェックポイント阻害剤投与患者の免疫関連有害事象現状調査
伊藤 直美(国立がん研究センター東病院 看護部)
- O16-78 Oxaliplatinを含む化学療法による末梢神経障害を有する患者の日常生活上の困難と対処
横山 諭(社会医療法人財団 慈泉会 相澤病院)
- O16-79 免疫チェックポイント阻害薬投与患者における入院中の転倒実態調査
江里口 美里(独立行政法人国立病院機構九州がんセンター 看護部)

第17群 症状マネジメント1 2月26日(日) 9:10~10:10 第4会場(パシフィコ横浜ノースG401)

座長: 高橋 美賀子(聖路加国際病院)

- O17-80 大腸がんにおける周術期管理支援アプリケーションの開発とユーザビリティ評価
関口 亮(国立がん研究センター東病院 看護部)
- O17-81 呼吸困難がある肺がん患者に関わる看護師の感情体験
堀越 美保(地方独立行政法人神奈川県立病院機構 神奈川県立循環器呼吸器病センター)
- O17-82 HCU術前訪問による術前がん患者が抱えるせん妄の促進因子の症状に関する実態調査
野口 征江(地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 埼玉県立がんセンター HCU病棟)
- O17-83 苦痛スクリーニングの運用システム構築の取り組みと評価
桐山 徹(医療法人社団 東光会 戸田中央総合病院)
- O17-84 本邦における乳がん自壊創のケアに関する文献検討
高木 良重(福岡国際医療福祉大学 看護学部)

第18群 症状マネジメント2 2月26日(日) 10:20~11:20 第4会場(パシフィコ横浜ノースG401)

座長: 我妻 孝則(金沢医科大学病院 看護部)

- O18-85 地域包括ケア病棟においてEGFR阻害薬の副作用に関するセルフケア指導を受けた患者の退院後の日常生活と不安
小倉 芽依(独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター 看護部)
- O18-86 高齢DLBCL患者への化学療法による便秘の予防に向けたセルフケア支援
六戸部 香里(福井大学 医学部 付属病院 看護部)
- O18-87 食道がん術後患者の食に伴う苦痛体験とその中で見出す喜び
市川 佳孝(群馬大学医学部 付属病院 看護部)
- O18-88 転移性骨腫瘍で疼痛がある患者について症状マネジメントにて介入した事例
須田 侑梨香(新潟大学地域医療教育センター 魚沼基幹病院)
- O18-89 悪性リンパ腫脊髄浸潤を持つ患者のセルフケア能力を高めた看護実践
宇野 奈桜(神戸大学医学部 付属病院 看護部)

第19群 症状マネジメント3/全人的な苦痛 2月26日(日) 12:40~13:40 第4会場(パシフィコ横浜ノースG401)

座長: 向井 未年子(愛知県がんセンター)

- O19-90 セルベルカチニブによる口腔乾燥・味覚障害の緩和に向けた事例報告
—RET融合遺伝子陽性非小細胞肺癌の患者に対して—
飯島 美穂(慶應義塾大学病院 看護部)
- O19-91 がん化学療法を受け味覚障害が出現している患者の生活の変化に対する思い
山崎 美佐(独立行政法人 労働者健康安全機構 香川労災病院)
- O19-92 難治性疼痛を抱え不安が強い患者の希望を叶えるための看護
藤田 恵(愛知県がんセンター)
- O19-93 肺がん治療中に中毒性表皮壊死症を発症した患者に対する看護師の支援が成立した要因
亀元 里沙(独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター)
- O19-94 手術で顔の外観変化を生じる頭頸部がん患者に対する専門看護師の心理社会的な看護実践
安川 弘平(国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院)

第20群 在宅・地域看護/社会的な問題 2月26日(日) 13:50~14:50 第4会場(パシフィコ横浜ノースG401)

座長: 土井 晴代(独立行政法人国立病院機構 福岡東医療センター)

- O20-95 訪問看護師の外来化学療法中の患者に対する電子媒体を活用した取り組み
田中 雄大(コバン訪問看護ステーション)
- O20-96 急性期病院における退院後訪問が効果的であった症例
江崎 絵美(社会医療法人共愛会 戸畑共立病院)
- O20-97 サービス付き高齢者向け住宅で緩和ケアを受ける高齢がん患者の希望
東條 律子(在宅緩和ケアクリニックきずな)
- O20-98 術後の壮年期がん患者に対してがん相談支援センターの看護師が行う就労支援
隅 華奈(都立駒込病院)
- O20-99 就労支援に向けた抗がん剤に伴うしびれ症状による働きづらさの指標の信頼性の検討
福井 里美(東京都立大学 健康福祉学部 看護学科)

第21群 手術療法 2月26日(日) 15:00~15:50 第4会場(パシフィコ横浜ノースG401)

座長: 遠藤 久美(静岡県立静岡がんセンター)

- 021-100 病状進行に伴い気管切開を余儀なくされた頭頸部悪性腫瘍患者の特徴
緒方 空見子(昭和大学病院)
- 021-101 食道がん患者の術後3ヶ月における生活の実態
市戸 夏子(医療法人溪仁会 手稲溪仁会病院 看護部)
- 021-102 周期期における乳がん患者の生活の質に対する関連要因の検討
石貫 智裕(札幌医科大学 保健医療学研究科)
- 021-103 幽門側胃切除術後患者の術後症状が安定期の心理社会的側面に及ぼす影響
岡村 凌佑(和歌山県立医科大学)

第22群 看護師の教育1 2月26日(日) 9:10~10:00 第5会場(パシフィコ横浜ノースG402)

座長: 久保 五月(北里大学看護学部)

- 022-104 看護の意味を見出せずに苦しむ急性期病棟の若手看護師と教育担当看護師の
パートナーシップのプロセス
藤枝 文絵(青梅市立総合病院)
- 022-105 がん化学療法研修の経時的な反復測定評価による研修効果への課題
齋藤 砂織(大網白里市立国保大網病院)
- 022-106 放射線治療に関する看護師対象オンデマンド研修の効果
千葉 みゆき(国立国際医療研究センター病院 看護部)
- 022-107 院内がん看護研修会の成果と今後の課題-急性期病院におけるがん看護の質向上を目指して-
吉田 希美(宮崎県立延岡病院)

第23群 がんゲノム医療/遺伝看護 2月26日(日) 10:20~11:20 第5会場(パシフィコ横浜ノースG402)

座長: 中島 和子(静岡県立静岡がんセンター 看護部)

- 023-108 がんゲノム医療体制の整備に向けたOCNSの活動
北添 可奈子(高知医療センター)
- 023-109 ゲノム外来を受診する患者のがんゲノムプロファイリング検査に対する認識と必要とする支援
青木 幸恵(地方独立行政法人栃木県立がんセンター 看護部)
- 023-110 がん遺伝子パネル検査前のPalliative Prognostic Indexを用いた看護支援
東樹 京子(国立がん研究センター 東病院 看護部、国立がん研究センター 東病院 遺伝子診療部門)
- 023-111 がん遺伝子パネル検査を受けながら、ベストサポータティブケアを希望する患者の意思決定支援
棚原 陽子(琉球大学病院 看護部)
- 023-112 BRCA検査の受検に対する検査目的ごとの患者の想い
宇根底 亜希子(江南厚生病院)

第24群 エンドオブライフケア1 2月26日(日) 9:10~10:10 第6会場(パシフィコ横浜ノースG403)

座長: 中山 祐紀子(医療法人社団杏順会 越川病院)

- 024-113 子育て世代のがん患者へのACP実践
荻原 早稀(藤田医科大学病院 看護部)
- 024-114 終末期がん患者への退院後訪問指導~がん看護専門看護師と退院支援専従看護師の協働効果~
福田 麻実(JA秋田厚生連 由利組合総合病院)
- 024-115 積極的治療を終えて地域の急性期一般病院に転院したがん患者の体験
岩上 雄一(大阪府済生会千里病院)
- 024-116 End-of-Life期がん患者の「その人らしさ」を支えるがん看護専門看護師の高度実践
田上 恵子(大阪医科薬科大学病院 看護部)
- 024-117 緩和ケア病棟に入院している終末期がん患者の生を全うする生き方
柳田 千代美(ふくやま病院)

第25群 エンドオブライフケア2/チーム医療1 2月26日(日) 10:20~11:20 第6会場(パシフィコ横浜ノースG403)

座長: 入江 佳子(筑波大学附属病院)

- 025-118 演題取り下げ
- 025-119 緩和ケア病棟看護師のターミナルケア態度に影響する要因-看護師のレジリエンスに着目した分析-
太郎良 純香(地方独立行政法人北九州市立病院機構 北九州市立医療センター)

- 025-120 化学療法を受ける造血器腫瘍患者に関わるリハビリテーションへの看護師の認識調査
鈴木 瞳 (岩手県立中央病院)
- 025-121 緩和ケア病棟における看護師の倫理的ジレンマへの対処に関わるカンファレンスの意義
松井 美佐保 (東京医科歯科大学病院)
- 025-122 外来がん薬物療法を受ける高齢患者を支えるためのチーム医療と
外来化学療法センター看護師の役割
荒 恵理 (旭川医科大学病院)

第26群 チーム医療2 2月26日(日) 12:40~13:40 第6会場 (パシフィコ横浜ノースG403)

座長：水野 俊美 (がん研究会 有明病院)

- 026-123 A病院緩和ケアチーム介入内容の現状と変化
正井 志穂 (神戸市立西神戸医療センター 緩和ケアセンター)
- 026-124 終末期に関わる療養環境調整における多職種連携の取り組み
～外来化学療法中の胃がん、大腸がん患者を対象として～
遠藤 貴美子 (国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院 看護部)
- 026-125 Huntington舞踊病で認知機能が低下した症例に多職種連携が有用であった一例
逸見 佐恵 (国立がん研究センター東病院)
- 026-126 同種造血幹細胞移植患者の多職種カンファレンスが病棟看護師に与える影響
田村 かおり (山口赤十字病院 看護部)
- 026-127 安全なDVT予防対策の構築と運用を目指して
村上 貴子 (兵庫県立がんセンター)

第27群 看護師の教育2 2月26日(日) 13:50~14:40 第6会場 (パシフィコ横浜ノースG403)

座長：笹原 朋代 (ファミリー・ホスピス株式会社)

- 027-128 A病院外来化学療法における看護師への教育的介入と環境調整の取り組み
荒井 房子 (沖縄県立宮古病院)
- 027-129 がん専門病院の卒後2~4年目看護師への教育支援
～院内キャリアラダー評価表を用いた支援体制の取り組み～
高橋 由美子 (国立がん研究センター中央病院、国立病院機構 災害医療センター)
- 027-130 看護師の曝露対策教育による効果および行動変容を困難にする要因
船越 翼 (製鉄記念八幡病院 看護部)
- 027-131 看護師の職業性曝露に対する実態調査からみる今後の課題
古賀 さとみ (九州大学病院 看護部)

第28群 看護師の教育3 2月26日(日) 14:50~15:40 第6会場 (パシフィコ横浜ノースG403)

座長：岸田 さな江 (獨協医科大学病院)

- 028-132 「専門看護師・認定看護師活動報告書・ラダー自己評価表」を活用した
専門看護師・認定看護師と配属部署看護管理者の面談の取り組み
藤浪 文子 (がん研究会 有明病院)
- 028-133 A病院における褥瘡専任看護師の自己評価表を用いた褥瘡看護実践力に関する実態調査
石川 加奈子 (公益財団法人がん研究会 有明病院)
- 028-134 病棟所属のがん看護専門看護師へのニーズ
新垣 亮太 (沖縄県立南部医療センター・こども医療センター)
- 028-135 緩和ケア病棟に勤務する看護師が捉える終末期がん患者の希望
吉澤 弥生 (群馬県立がんセンター 看護部)

一般演題 (示説)

第1群 予防・スクリーニング

- P1-1 がん診断時から緩和ケア提供への体制構築に向けて
～外来化学療法を受ける患者に苦痛スクリーニングシートを用いた実態調査～
中島 忍 (JA徳島厚生連 阿南医療センター)
- P1-2 血液疾患患者に対する転倒転落対策への実態調査
～アセスメント能力向上と個別性に応じたケアのために～
津田 直子 (石川県立中央病院 看護部 5階西病棟)

- P1-3 がん看護専門看護師が行う小学生から開始する緩和ケアを含むがん教育の実践報告
堀 涼恵（愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院）
- P1-4 中高生の子をもつ親のがんに対する認識およびがん検診受診行動と関連要因に関する研究
土井 智生（大阪医科薬科大学 看護学部 看護学科）
- P1-5 Family based approachを用いたがん及び生活習慣病予防教育の内容と成果:文献レビュー
鈴木 久美（大阪医科薬科大学 看護学部 看護学科）
- P1-6 中学校・高等学校の教員のがんに対する意識およびがん検診受診行動との関連要因
鈴木 久美（大阪医科薬科大学 看護学部 看護学科）
- P1-7 日本の中高生におけるがんに対する意識とその関連要因
南口 陽子（武庫川女子大学 看護学部）
- P1-8 中学校および高等学校の教員のがん教育への認識と影響要因
山中 政子（天理医療大学 医療学部 看護学科）
- P1-9 A病院の交代勤務を行う20～30歳代女性看護師の子宮頸がん検診受診の実態調査
小川 梨沙（富山県立中央病院 看護部）
- P1-10 苦痛のスクリーニングに関するカンファレンス実施後の緩和ケアに対する
看護師の困難感の変化と看護実践への効果
井上 直子（地方独立行政法人山梨県立病院機構 山梨県立中央病院）
- P1-11 外来化学療法室の苦痛スクリーニング全患者への拡大と今後の課題
穂山 真理（日本医科大学付属病院）

第2群 薬物療法

- P2-12 抗がん剤投与中における血管外漏出の現状と課題
赤間 秋子（(公益財団法人) 仙台市医療センター 仙台オープン病院）
- P2-13 外来化学療法室で勤務する看護師の患者ケアへの意欲・関心の変化
ー継続受け持ち制を導入してー
安達 直美（鳥取県立中央病院 外来治療室）
- P2-14 院内irAE対応システム構築に向けた問診の試行的導入
兼重 好美（大阪大学医学部附属病院）
- P2-15 外来治療室における看護師の緊急時対応能力向上に向けた
シミュレーションテストの取り組みの実践報告
照井 千恵（がん研究会 有明病院 看護部 ATC）
- P2-16 mFOLFOX6+パニツムマブ療法中のレボホリナートによる過敏症に関する事例報告
清水 由希枝（医療法人徳洲会 宇治徳洲会病院）
- P2-17 A病院における閉鎖式薬物移送システム拡大後の投与管理の現状と課題
百崎 やよい（日本赤十字社 福岡赤十字病院 看護部）
- P2-18 乳がん術後1年の更年期症状とQOLの関連
佐藤 富美子（福島県立医科大学 看護学部）
- P2-19 ホルモン療法中の閉経前乳がん患者の睡眠悪化に関連する治療前の要因
佐伯 香織（名古屋大学大学院 医学系研究科 総合保健学専攻）
- P2-20 CSTD導入後の抗がん薬曝露防止対策の効果と課題
日下部 緑（北海道大学病院）
- P2-21 成人がん患者のレジリエンスに関する国内文献のレビュー
田村 沙織（大阪大学大学院 医学系研究科 保健学専攻）
- P2-22 がん薬物療法を受けるがん患者の希望の関連因子:システマティックレビュー
喜多下 真里（滋賀県立大学 人間看護学研究院）
- P2-23 血液がんと診断され化学療法を受けている患者の病気・治療の認知と困難:文献レビュー
山本 桂子（大阪医科薬科大学 大学院看護学研究科 博士前期課程）

第3群 手術療法/放射線療法/がんゲノム医療

- P3-24 乳がん手術を受ける患者の病日に沿った心模様の変化を捉える
高瀬 綾香（独立行政法人国立病院機構高崎総合医療センター 看護部 西5階病棟）
- P3-25 肺がん診断時から手術後までの継続した療養支援における看護師の役割
ー病棟看護師が外来での療養支援を実践した経験からー
南保 沙耶子（順天堂大学医学部附属順天堂医院）
- P3-26 直腸がんの低位前方切除術の看護に関する文献レビュー
藤井 知花（東邦大学医療センター大橋病院）

- P3-27 消化器がん患者の周術期ヘルスリテラシーを発揮するための看護援助
森本 紗磨美 (高知県立大学 看護学部)
- P3-28 腹部放射線治療における外気温と蓄尿量の関係
小林 涼子 (社会福祉法人 仁生社 江戸川病院 看護部)
- P3-29 前立腺がん放射線治療における膀胱エコー使用とセルフケア支援
高澤 佳江 (社会福祉法人 仁生社 江戸川病院 看護部)
- P3-30 がん専門病院における放射線治療中患者の看護カンファレンス実施状況調査報告
谷口 翔子 (がん研有明病院)
- P3-31 放射線療法を受ける頭頸部がん患者に対するセルフケア支援
～病棟看護師のがん看護に関する困難感との関連～
藤川 綾 (国家公務員共済組合連合会 浜の町病院)
- P3-32 がん放射線療法看護認定看護師の看護実践の実態
青木 美和 (大阪大学大学院 医学系研究科 保健学専攻)
- P3-33 放射線治療を受けるがん患者の苦痛のスクリーニングと看護介入の結果から今後の課題を考える
中村 みどり (総合病院 聖隷浜松病院 外来看護課)
- P3-34 がん放射線療法看護における国内文献の研究動向について
遠藤 貴子 (東都大学 沼津ヒューマンケア学部 看護学科)
- P3-35 遺伝担当看護師の取り組みと今後の課題
宮嶋 幸子 (新潟県立がんセンター新潟病院)

第4群 意思決定

- P4-36 ベストサポーターケア(以後BSC)へ移行する患者の思いを共に考える意思決定支援
ー患者の思いを尊重した療養支援ー
高畑 清美 (都城市郡医師会病院)
- P4-37 COVID-19感染対策下における急変時の意思決定支援 ～事例検討会の学びを通して～
萩原 房代 (筑波大学附属病院)
- P4-38 AYA世代がん患者の意思決定支援における看護師が抱える葛藤
宮田 奈苗 (滋賀医科大学医学部附属病院)
- P4-39 肺がん患者へのACPの実践状況と今後の課題
中村 梨沙 (鳥取大学医学部附属病院 看護部)
- P4-40 遺伝性乳癌卵巣癌症候群である卵巣癌患者の乳癌サーベイランスに関する意思決定支援
藤村 有紀 (大阪赤十字病院 看護部)
- P4-41 市民を対象としたACPワークショップ～実際に人生会議を行った人の感想の質的分析～
武田 佳子 (三重大学 医学部 医学・看護学教育センター)
- P4-42 A病院のがん看護関連専門・認定看護師のがん患者指導管理料イ算定時の記録から見えてきた
今後の課題
石村 愛 (関西電力病院 看護部)
- P4-43 A病院のがん看護委員会リンクナースを通して取り組んだインフォームドコンセントにおける
看護師の役割の可視化
石村 愛 (関西電力病院 看護部)
- P4-44 がん患者のアドバンス・ケア・プランニングを促進する看護質評価指標の開発
ーデルファイ法を用いてー
菅原 加奈子 (大崎市民病院 患者サポートセンター)
- P4-45 A病院看護師のアドバンス・ケア・プランニングの実践状況と認識および支援ニーズ
杉江 礼子 (市立大津市民病院 患者相談支援室)
- P4-46 軟骨肉腫にて骨盤半裁術の提案がされた患者の不安に対する看護介入
ーアキュララの危機理論を用いてー
中西 麻衣子 (地方独立行政法人 長野市民病院)
- P4-47 コロナに罹患し終末期の療養場所を悩むAYA世代がん患者へNSSDMの枠組みを活用した
意思決定支援
狩俣 勇斗 (琉球大学病院 看護部 緩和ケアセンター)
- P4-48 看護師が行うアドバンス・ケア・プランニングにおける実践内容と阻害要因
-女性特有の悪性腫瘍に関わる看護師を対象として-
松本 麻希 (旭川医科大学病院 看護部)
- P4-49 肺がん終末期患者の希望を見いだす援助の実際
関谷 めぐみ (一般財団法人 新潟県地域医療推進機構 魚沼基幹病院)

- P4-50 がん患者のDNAR指示に関する文献レビュー
藤井 知花 (東邦大学医療センター大橋病院)
- P4-51 差し迫った病状の終末期がん患者の意思確認を「今なら切り出せる」と看護師が判断した理由
中林 梓 (地方独立行政法人 長野市民病院)
- P4-52 急速な経過を辿り術後4ヶ月で在宅看取りを迎えた40代乳がん患者への意思決定支援
廣澤 智恵 (社会福祉法人 仁生社 江戸川病院 看護部)
- P4-53 初期治療を受けるまでのがん患者の体験
田村 なな (静岡県立静岡がんセンター)
- P4-54 退院調整看護師が行うがん患者・家族への療養の場の選択に関する意思決定支援
～相談技術の実施状況と課題～
中澤 暁子 (東海大学医学部付属八王子病院)
- P4-55 緩和ケア病棟における侵襲的治療に関する意思決定支援
横山 亜紀子 (JA神奈川県厚生連 相模原協同病院)
- P4-56 A病院看護師の人生最終段階の医療・療養の話し合いに関する認識と実践
山田 仁映 (福井県済生会病院)
- P4-57 終末期がん患者の療養場所選択における看護アドボカシー実践モデルの質的評価
森 京子 (名古屋学芸大学 看護学部)
- P4-58 終末期がん患者の療養場所選択における看護アドボカシー実践モデルの開発と検証
森 京子 (名古屋学芸大学 看護学部)
- P4-59 精神的苦悩から治療を断念した成人患者との関わり
上田 恵巳 (鳥取大学医学部附属病院)
- P4-60 治療方針を決定していく時期のがん患者の自分らしさ
芦原 さくら (神戸親和女子大学 発達教育学部 心理学科)

第5群 倫理的問題/症状マネジメント

- P5-61 がん患者の治療抵抗性の苦痛に対する鎮静-鎮静前カンファレンスの現状と課題-
乾 貴絵 (兵庫医科大学病院 緩和ケアセンター)
- P5-62 医療用麻薬の効能に期待を寄せながら、患者の価値で内服を拒否した1事例
上田 幸奈 (島根大学医学部附属病院 看護部 看護専門外来)
- P5-63 緩和ケアにおける看護師の倫理的悩みと問題解決行動の関連要因
古川 智恵 (姫路大学 看護学部)
- P5-64 外来における苦痛スクリーニングの導入と評価
三輪 愛生 (横浜旭中央総合病院 看護部)
- P5-65 タキサン系抗悪性腫瘍剤の末梢神経障害予防のための手術手袋使用の現状報告
井本 俊子 (公立学校共済組合関東中央病院 看護部)
- P5-66 がん患者の嘔気・嘔吐に対するアロマセラピーの有効性の検討
平良 さおり (社会医療法人 仁愛会 浦添総合病院)
- P5-67 がん薬物療法後の患者への電話訪問調査の有効性
横溝 千登勢 (飯塚病院 がん集学治療センター)
- P5-68 緩和ケア病棟看護師の終末期せん妄に対するアセスメントの変化
深澤 敏絵 (群馬県立がんセンター 看護部)
- P5-69 終末期せん妄に関する文献レビュー
藤井 知花 (東邦大学医療センター大橋病院)
- P5-70 患者の意思に添ったオピオイドの導入が良き最期を迎えられた一例
オピオイドを拒んでいた経過を通して
北島 昌樹 (医療法人清順堂 ためなが温泉病院、山形大学 大学院医学系研究科博士前期課程 NPコース)
- P5-71 化学療法により口腔粘膜炎を呈した乳がん患者へIASM(症状マネジメントモデル)を用いた
疼痛緩和の看護実践
黒岩 恵理子 (地方独立行政法人 長野市民病院)
- P5-72 化学療法誘発性末梢神経障害と生活動作障害およびQOLとの関連
林田 響子 (日本赤十字社 長崎原爆病院)
- P5-73 前立腺全摘除術後がん患者の下部尿路症状に対する自己管理の実態
天野 功士 (同志社女子大学看護学部、大阪医科薬科大学看護学研究科博士後期課程)
- P5-74 腹部膨満感のある乳がん患者に対するIASM理論を用いた症状マネジメント
加藤 裕美 (原町赤十字病院)

- P5-75 治療を受けている婦人科がん患者のセクシュアリティに関する困難と対処:文献レビュー
飯田 真実子 (大阪医科薬科大学 看護学研究科 博士前期課程)
- P5-76 続発性リンパ浮腫を発生した認知症高齢がん患者の症状マネジメント
—多職種連携を促進するための調整役割
小里 裕美 (公益財団法人 北海道医療団 帯広第一病院 がん看護相談支援室)

第6群 全人的な苦痛

- P6-77 直腸がんストーマ造設術・術後化学療法をうける患者へのタッチングを用いた看護介入
渡辺 綾乃 (社会医療法人 敬愛会 中頭病院)
- P6-78 難治性疼痛を抱えた終末期がん患者の症状緩和から在宅療養へ移行できた一事例
五十嵐 千代子 (桐生厚生総合病院)
- P6-79 血液がん患者の危機回避に対する看護援助
関谷 めぐみ (一般財団法人 新潟県地域医療推進機構 魚沼基幹病院)
- P6-80 老年期にある終末期がん患者が表出するスピリチュアルペインの特徴に関する文献検討
橋本 愛美 (金沢大学付属病院 看護部)
- P6-81 急性期病院に勤務する看護師のがん患者へのスピリチュアルペインの認識とケアの実践状況
中藤 ゆか (独立行政法人 労働者健康安全機構 九州労災病院)
- P6-82 がん治療による外見変化に対する患者教室開催の評価と分析
坂口 まみ (熊本大学病院 がんセンター)
- P6-83 入院中に心を閉ざした終末期直腸癌患者への支援と考察
鈴木 理恵 (山形大学医学部附属病院 看護部)
- P6-84 終末期がん患者へのスピリチュアルケアに対する看護師が抱く困難と実践内容:文献レビュー
山本 里香 (大阪医科薬科大学大学院 看護学研究科 博士前期課程)

第7群 エンドオブライフケア

- P7-85 看護師が捉えた終末期がん患者に穏やかさをもたらす看護援助
松野 史 (広島大学大学院医系科学研究科博士課程後期)
- P7-86 一般病院において看護師が再発がん患者にディグニティセラピーを実施した1例
伴 佳子 (防衛医科大学校 医学教育部 看護学科)
- P7-87 アドバンス・ケア・プランニングにおける患者が表す“遠ざける”ことの意味
坂本 麻実 (手稲溪仁会病院)
- P7-88 在宅で最期を迎えたがん患者と家族の思いに関する質的研究
野坂 あずさ (社会医療法人財団 石心会 さいわい訪問看護ステーション)
- P7-89 鎮静開始に対する医療従事者の考え方の変化 -手引きを活用して-
北島 昌樹 (医療法人 ためなが温泉病院、国立大学法人 山形大学 大学院医学系研究科
博士前期課程 NPコース)
- P7-90 隠された家族の心の声を聴き取り希望に添えた一例
北島 昌樹 (医療法人清順堂 ためなが温泉病院、国立大学法人 山形大学 大学院 医学系研究科
博士前期課程 NPコース)
- P7-91 終末期の急性骨髄性白血病患者の退院支援に介入し、レジリエンスを引き出した症例
岡田 菜穂子 (藤田医科大学病院 看護学部)
- P7-92 血液内科病棟で抗がん薬治療を続けながら療養している造血器腫瘍患者の家族の苦しみへの介入
本多 昌子 (独立行政法人 国立病院機構 渋川医療センター 看護部)
- P7-93 緩和ケア病棟における患者・家族の希望に沿った自宅退院に至る要因
岡田 紀代子 (一般財団法人同友会 藤沢湘南台病院)
- P7-94 A施設における看取りと他職種協働-コミュニケーションに困難を抱えた患者の一事例-
大野木 由美子 (元ナーシングサポート)
- P7-95 混合病棟で終末期ケアに携わる看護師の困難感の実態
—一般病棟看護師の終末期がん患者ケアに対する困難感尺度を用いて—
梅田 彩加 (福井県立病院)

第8群 チーム医療

- P8-96 患者と共に行う、退院後の生活で困らない尿路ストーマ管理への取り組み
久保出 晴菜 (公益財団法人がん研究会有明病院)

- P8-97 医療スタッフのAYA世代がん患者に対する認知・介入の現状及びチャイルド・AYAチームの活動に対する認知に関する調査
関口 陽子（公益財団法人 がん研究会有明病院）
- P8-98 地域がん診療連携拠点病院におけるがん患者指導管理料算定時の看護介入に対する医師の捉え方
檜山 千春（那須赤十字病院）
- P8-99 多部署で繋ぐ臓がん患者の看護ネットワーク構築
柏田 孝美（近畿大学病院）
- P8-100 精神科がん患者ボードの取り組み
飯尾 友華子（青梅市立総合病院 地域医療連携室）
- P8-101 A県がん診療連携拠点病院における閉鎖式薬物移送システム(CSTD)導入への取り組み
竹中 健（富山県立中央病院）
- P8-102 化学療法による苦痛症状に対するエンパワーメント支援の一症例
堀内 淳子（昭和大学横浜市北部病院）
- P8-103 がん関連認定看護師で構成する「がん看護サポートチーム」活動報告と課題
原木 美緒（日本郵政株式会社 東京通信病院）
- P8-104 がん化学療法看護認定看護師によるがん患者指導管理料口算定の現状と課題
～病棟勤務認定看護師のがん患者家族支援を考える～
永瀬 美沙（国立病院機構 米子医療センター）
- P8-105 Aがん専門病院の一般診療科・病棟におけるせん妄対応への緩和ケアチームの教育・活動実践について
大友 陽子（公益財団法人がん研究会有明病院 看護部）
- P8-106 A総合病院のがん薬物療法に伴う末梢神経障害評価の実態と課題
柴崎 幾代（総合病院 聖隷浜松病院 看護部）
- P8-107 A病院における保険薬局との連携によるがん化学療法の質向上効果
澤畑 ひろみ（株式会社日立製作所 ひたちなか総合病院 看護局）
- P8-108 デスカンファレンスを行ったことで見えたケアの意味
加藤 裕美（原町赤十字病院）
- P8-109 看護師がピアランスケアにおいて多職種との協働を行う際に抱く困難感
松本 智里（石川県立看護大学 看護学部）
- P8-110 Aがん専門病院の多領域から構成する専門看護師・認定看護師チームの定期病棟訪問によるコンサルテーション活動と課題
梶原 裕希（がん研究会有明病院 看護部）
- P8-111 緩和ケアチームで活動するがん看護専門看護師の病棟看護カンファレンス定期参加による効果
田中 有紀子（地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター）
- P8-112 放射線治療室看護師の看護実践についての基礎調査
-看護管理者からみた放射線治療室における看護師の役割認識と実践度認識-
徳永 智恵美（医療法人社団高邦会 高木病院）
- P8-113 A県におけるがん患者の妊孕性温存に関する相談の実態
～がん相談部門を通じた連携体制に関する調査報告～
太田 佳男（岡山大学病院 腫瘍センター）
- P8-114 がん患者に対する緩和ケア質向上に向けた取り組み ～看護部緩和ケア委員会の発足と活動～
富川 将史（社会医療法人 北楡会 札幌北楡病院 看護部）
- P8-115 当院のがん患者指導管理料取得に向けた取り組み
田中 雄規（藤田医科大学 七栗記念病院）
- P8-116 緩和ケア認定看護師のコンサルテーション(相談)の実践とコンサルティ(相談者)、患者・家族(相談対象)への成果
片桐 奈緒（国立研究開発法人 国立がん研究センター東病院）
- P8-117 放射線治療室看護師の看護実践についての基礎調査<第一報>
-放射線治療室で看護を担当している看護師-
澤本 ゆき（久留米大学認定看護師教育センター）
- P8-118 放射線治療室看護師の看護実践についての基礎調査<第二報>
-病棟看護師からみた放射線治療室看護師-
山坂 和美（久留米大学病院）
- P8-119 放射線治療室看護師の看護実践についての基礎調査<第三報>
-外来看護師からみた放射線治療室看護師-
原 美穂（久留米大学認定看護師教育センター）

第9群 外来看護/臨床試験

- P9-120 看護相談からみるがん患者・家族の支援ニーズの把握 -がん専門病院単施設の看護相談実績の分析-
藤井 恵美 (国立がん研究センター中央病院 看護部)
- P9-121 がん治療前に妊孕性温存のニーズがある患者への支援 ～外来部門での取り組み強化～
阿部 三千代 (公益財団法人 がん研究会 有明病院)
- P9-122 乳がん患者のがん体験に基づいた外来看護支援の検討
坂本 里菜 (富山県厚生農業協同組合連合会 滑川病院)
- P9-123 患者・介護者が安心して在宅療養できる切れ目のない継続的な支援を目指した地域連携室と
外来看護師の協働体制づくり
永澤 郁美 (公益財団法人がん研会 有明病院)
- P9-124 特定機能病院におけるがん看護相談開設8年目の現状と課題
佐藤 さやか (札幌医科大学附属病院 医療連携福祉センター)
- P9-125 外来における療養環境調整に関する話し合いが必要な患者の特徴
石井 恵 (岡崎市民病院 看護局、東邦大学大学院看護学研究科 博士後期課程)
- P9-126 化学療法看護外来開設による看護実践
瀬崎 奈美 (鳥取大学医学部附属病院)
- P9-127 がん看護外来の利用実態と期待される役割に関する検討
浦上 裕美 (厚生連高岡病院 看護部)
- P9-128 経口抗がん剤による皮膚障害減少への取り組み
横尾 千寿 (国立がん研究センター東病院)
- P9-129 外来化学療法時の頭皮冷却を併用した乳がん患者のサポート体制と今後の課題
穂山 真理 (日本医科大学付属病院)
- P9-130 A病院における外来看護師ががん看護外来に支援を繋ぐ実際
佐藤 宏幸 (秋田大学医学部附属病院)
- P9-131 外来化学療法患者の待ち時間の満足度に影響を及ぼす要因の検討
上野 妙子 (地方独立行政法人 下関市立市民病院)
- P9-132 免疫チェックポイント阻害剤治療をうける患者のセルフマネジメント実態調査
山谷 淳子 (医療法人溪仁会 手稻溪仁会病院)
- P9-133 A病院化学療法センターにおける苦痛のスクリーニング
Integrated Palliative care Outcome Scale(IPOS)導入後の苦痛の評価
山根 美代子 (姫路赤十字病院)
- P9-134 レゴラフェニブ内服による手足症候群の発症と患者の関心と受診行動の関係性
佐々木 貴子 (岩手県立釜石病院)
- P9-135 舌下腺がん術後放射線治療の有害事象に対するセルフケア支援により外来治療を継続できた一事例
平松 奈穂子 (静岡県立静岡がんセンター)
- P9-136 治験薬を正確で安全に投与するための取り組み
森谷 麻希 (国立がん研究センター中央病院 看護部 通院治療センター)

第10群 在宅・地域看護

- P10-137 COVID-19の感染拡大下における在宅ホスピスボランティアの活動
田村 真由美 (姫路獨協大学)
- P10-138 医療処置を必要とする食道がん患者の自宅退院に向けた家族支援の一考察
村上 真知子 (医療法人溪仁会 手稻溪仁会病院)
- P10-139 がん専門病院におけるスムーズな退院支援を行うための検討—看護管理者の視点としての分析から—
金子 菜穂子 (国立がん研究センター東病院 看護部)
- P10-140 がん診療連携拠点病院に通院中のがん患者に対する在宅療養移行支援における課題
—訪問看護師のインタビュー調査から—
後藤 たみ (地方独立行政法人 神戸市民病院機構 神戸市立医療センター西市民病院)
- P10-141 食道がん術後患者に対する退院支援フローチャート使用前後の支援内容と患者成果の比較
中村 美琴 (公益財団法人がん研究会 有明病院 看護部 7階西病棟)
- P10-142 終末期患者の在宅療養における急性期病院看護師の役割
～MCSを活用し在宅診療医・訪問看護師等との連携で看取りに繋がった一例～
佐々木 香代 (独立行政法人労働者健康安全機構 九州労災病院、久留米大学大学院 心理学研究科
前期博士課程)

- P10-143 中小病院の看護部門が行った在宅訪問指導・看護についての取り組みと実践報告
坂本 恵（公益社団法人 日本海員救済会 門司救済会病院 外来部門）
- P10-144 地域包括支援センターの介護支援専門員が直面する高齢がん患者の地域療養マネジメントにおける課題
長屋 由起子（広島市立安佐市民病院）
- P10-145 がん患者の在宅療養を支える介護支援専門員が感じる困難
松本 好美（群馬県立がんセンター）
- P10-146 在宅において「穏やかな死を支える」緩和ケアだけでなく「生きる希望を支える」治療も
選択肢できると認識できた一事例
渡邊 真理子（医療法人 愛和会 訪問看護ステーション愛和）
- P10-147 ホスピス住宅で療養生活を送りながら抗がん剤治療を行ったがん患者の特徴
笹原 朋代（ファミリーホスピス株式会社 人材戦略部/品質管理室）
- P10-148 A事業所の訪問看護を利用するがん在宅療養者と終末期を過ごした家族がリレーメッセージを通して得た思い
吉川 清巳（栴みのり 訪問看護ステーション みのり）
- P10-149 訪問看護師が親の介護を行った体験から緩和ケアの困難さ
～看護師そして娘の立場から医療と介護の必要性を考える～
上遠野 ひとみ（介護老人保健施設 シルバーケア常盤平）

第11群 家族ケア

- P11-150 意思表出の少ない患者とその夫の苦しみへの関わり
寺本 里美（川崎医科大学附属病院）
- P11-151 テーラーメイド型小学校がん教育を目指した教材開発 -教材(試作版)の試用・評価-
三木 祐子（帝京大学 医療技術学部 看護学科）
- P11-152 子を看取る高齢者の看護についての一考察
水島 加奈子（一般財団法人津山慈風会 津山中央病院）
- P11-153 後期高齢がん患者の疼痛ケアにおける配偶者の情報ニーズと情報探索行動
松岡 みちる（小田原市立病院）
- P11-154 コロナ禍における面会制限の中でのがん患者家族の面会についてのかかわり
松尾 清美（公益財団法人 日本海員救済会 長崎救済会病院）
- P11-155 A病院緩和ケア病棟におけるグリーフカードの運用方法変更に伴う病棟スタッフの意識変化
梶原 裕希（がん研究会 有明病院 看護部）
- P11-156 統合失調症を有する終末期がん患者を在宅で看取った家族の体験
小林 やよい（医療法人社団佳生会 こだま在宅内科緩和ケアクリニック）
- P11-157 コロナ禍における緩和ケア病棟での看取りへの支援
茂木 真由美（群馬県立がんセンター 看護部）
- P11-158 子どもの持つがんの理解とイメージに関する研究の現状と課題<文献研究>
栄 裕海（東京都立大学大学院 人間健康科学研究科 看護科学域）

第12群 看護師の教育

- P12-159 がん看護研修アドバンスコースの評価と今後の課題～効果的な研修を目指して～
今西 優子（神戸大学医学部附属病院 看護部）
- P12-160 一般病棟の看護師に対するスピリチュアルケアの行動獲得に向けた取り組みによる実証的研究
狩谷 恭子（ときわ会常磐病院）
- P12-161 コロナ禍での病棟看護師を対象としたがん看護に関する院内専用メールを用いた
オンラインカンファレンスの取り組みと効果
高水 杏子（東海大学医学部附属大磯病院）
- P12-162 がん治療における皮膚障害対策に関する映像教育コンテンツの実用化に向けて
中村 千里（聖マリアンナ医科大学病院 緩和ケアセンター）
- P12-163 アピアランスケアに関するe-learning研修が医療者に与える影響
—e-learning研修プログラム効果の検討—
藤間 勝子（国立がん研究センター中央病院 アピアランス支援センター）
- P12-164 A病院におけるがん看護専門看護師による院内スペシャリスト留学の実際
-導入初年度の受講者のレポートより-
志方 優子（独立行政法人 地域医療機能推進機構 大阪病院）
- P12-165 外来がん化学療法におけるリーダー看護師に必要なコンピテンシーに関する研究
櫻井 通恵（群馬県立がんセンター）

- P12-166 がん看護コミュニケーションスキル研修にみる卒後2年目看護師のコミュニケーションの傾向と課題
熊谷 香織（宮城県立がんセンター 緩和ケアセンター）
- P12-167 ACPの普及に向けたスタッフ教育の取り組みと今後の課題
島田 真由美（大阪警察病院 看護部）
- P12-168 緩和ケアリンクナースを対象としたACPに関する研修評価と課題
平田 佳子（倉敷中央病院）
- P12-169 外来治療室(ATC)で免疫チェックポイント阻害薬(ICI)治療を受ける患者への
セルフモニタリング指導内容の検討
加藤 小巻（がん研有明病院 看護部）
- P12-170 尿路系ストーマケアにおける生活の再構築に向けたエキスパート看護師の臨床判断
橋本 沙樹（九州がんセンター）
- P12-171 A病院看護師が抱くがん患者のせん妄ケアに対する困難感
—個人特性およびせん妄ケアに対する取り組みとの関連—
田上 知江美（岐阜・西濃医療センター 揖斐厚生病院）
- P12-172 放射線性皮膚炎のGrade評価の取り組み ～カルテ調査から見た現状と課題～
宮城 智江（琉球大学病院）
- P12-173 看護基礎教育におけるエンド・オブ・ライフケアシミュレーション教育プログラムの実践報告
渡邊 千春（新潟医療福祉大学 看護学部 看護学科）
- P12-174 地域がん診療連携拠点病院での院内がん看護研修をオンデマンド形式で院外看護師に公開した評価
小澤 桂子（NTT東日本関東病院 看護部）
- P12-175 専門看護師・認定看護師・診療看護師を目指す看護師のための支援活動
～“キャリアデザインなび”の企画・開催～
田代 恵子（がん研究会有明病院 看護部）
- P12-176 がん看護研修に関する学習ニーズの実態と効果的な研修の在り方の再考
亀谷 朋子（社会福祉法人 函館厚生院 函館中央病院 看護部）
- P12-177 地域病院における療養病棟の師長が行うがん看護に関する看護師への教育
名越 恵美（岡山県立大学 保健福祉学部 看護学科）
- P12-178 乳がん看護を専門とする看護師の臨床看護経験から形成されたプロフェッショナリズム 第1報
森田 公美子（香川県立保健医療大学 保健医療学部 看護学科）
- P12-179 看護師による病棟での抗がん薬投与時の安全な血管確保導入の取り組み
吉田 ミナ（独立行政法人国立病院機構 九州がんセンター）
- P12-180 認定看護師主催のがん薬物療法看護勉強会を受講した看護師のニーズとその影響
上原 智子（国立がん研究センター中央病院）
- P12-181 院内がん看護研修の取り組み～オンライン研修を導入して評価と課題～
宮崎 加奈子（神戸大学医学部附属病院 看護部）
- P12-182 コロナ禍における看取りケアに対する学習ニーズと学習効果の予備調査
中村 正子（愛知医科大学看護学部）
- P12-183 がん薬物療法看護リンクナース育成研修プログラム評価と課題
～地域一般急性期病院でのこころみ～
定免 亨（千葉徳洲会病院 看護部）
- P12-184 血流感染防止対策の強化に向けた取り組み ～B病棟における病棟看護師の実践能力の向上に向けて～
高倉 千津子（社会医療法人 共愛会 戸畑共立病院）
- P12-185 がん専門病院におけるストーマケアラダーの作成と導入に向けた取り組み
～看護師のストーマケアレベル向上を目指して～
三浦 玲奈（国立がん研究センター東病院）
- P12-186 看護系大学生のがんおよびがん予防に対する知識と予防行動の実際
齊田 菜穂子（山口大学大学院医学系研究科 保健学専攻）
- P12-187 がん化学療法看護e-ラーニング研修の評価
高橋 美知枝（社会福祉法人函館厚生院 函館五稜郭病院 看護部）
- P12-188 がん診療連携拠点病院以外の中小規模病院に勤務する看護師のがん看護に対する困難感の実態と
その関連要因の探索
中村 康江（日本鋼管病院）

第13群 小児・若年者のがん

- P13-189 妊孕性温存療法に関連した乳がん患者の情報ニーズ ～受精卵凍結保存療法を受けた経験を通して～
千々和 紀子（日本鋼管病院）

- P13-190 当院外来化学療法室の苦痛スクリーニング内容の検討～AYA世代がん患者への質問紙調査から～
永石 恵美（長崎大学病院）
- P13-191 妊孕性低下が懸念されるAYA世代女性がん患者の心理とその看護に関する文献検討
小竹 彩華（東京医科大学八王子医療センター）
- P13-192 若年成人期にある希少がん患者のエンパワーメント
～苦悩に寄り添い、自ら一步を踏み出す力を引き出すかわり～
東恩納 貴子（地方独立行政法人 那覇市立病院）
- P13-193 AYA世代がん患者のための支援体制～毎週開催「AYAカンファレンス」による取り組み～
橋本 久美子（聖路加国際病院 AYAサバイバーシップセンター 相談支援センター）
- P13-194 女性がんサバイバーにおける妊孕性支援に関する看護教員の思い一母である看護教員の語りから～
那須 明美（山陽学園大学 看護学部 看護学科）
- P13-195 悪性骨軟部肉腫治療中の就学している小児・AYA世代が抱える問題の実態調査
今村 優里（がん研有明病院）
- P13-196 再発疑いを伝えられたAYA世代がん患者との関りに対する一考察-レジリエンスの視点での検討-
谷口 香織（大阪赤十字病院 看護部）
- P13-197 化学療法を受ける20～30歳代がん患者のレジリエンスに関する文献検討
能仁 梨紗（兵庫県立尼崎総合医療センター）

第14群 高齢者のがん

- P14-198 レナリドミドへの服薬アドヒアランスが低い独居高齢患者に対する
治療継続の可能性を見出した支援事例
冨永 美希（独立行政法人 国立病院機構 長崎医療センター）
- P14-199 高齢がん患者とその家族への意思決定支援に関する研究の実際
矢口 菜穂（東海大学 医学部 看護学科）
- P14-200 高齢者総合機能評価の取り組みの実践報告～今後の患者支援に向けて～
有井 奈央子（国立がん研究センター中央病院 看護部）
- P14-201 独居高齢進行がん患者の外来がん化学療法中の暮らし
杉山 令子（秋田大学 大学院医学系研究科 保健学専攻）
- P14-202 進行がんを患う身寄りのない患者への相談部門の看護師による支援の実際
～入院および医療に関わる意思決定に焦点をあてて～
梶原 弥生（相模原協同病院）
- P14-203 高齢独居がん患者の治療や療養先選択に関する訪問看護師の意思決定支援
-急速に病状進行した一事例-
大野木 由美子（元ナーシングサポート）
- P14-204 進行臓器がん患者がその人らしい生き方を意思決定する過程
～キーパーソン不在の中で意思決定を行った患者～
清田 郁穂（手稲溪仁会病院 看護部）
- P14-205 看護職のための神奈川緩和ケア研究会 高齢がん患者の意思決定支援研修の評価
-紙上事例とトリガービデオを用いた研修比較-
渡邊 眞理（湘南医療大学 保健医療学部 看護学科）

第15群 サバイバーシップ/社会的な問題

- P15-206 急性期一般病院におけるがんサロン運営システム構築への取り組み
～院内協力者との協働を目指して～
夏目 真美（地方独立行政法人 東京都立病院機構 東京都立東部地域病院）
- P15-207 A病院における乳がん術後補整下着の情報提供に関する現状と課題
内田 恵（山口県立総合医療センター）
- P15-208 外見の変化を体験したがんサバイバーのヘルスリテラシーの実態
佐藤 明美（札幌医科大学附属病院）
- P15-209 外見の変化を体験したがんサバイバーのヘルスリテラシーに関するアンメットニーズ
川村 三希子（札幌市立大学看護学部）
- P15-210 がん治療を受けた農業に従事しているがんサバイバーの就労に関する体験
金野 将也（青森県立保健大学 健康科学部 看護学科）
- P15-211 当院におけるがん患者の就労支援の活動報告～社会保険労務士との協働～
酒井 紀子（神戸大学医学部附属病院 がん相談室）

- P15-212 がん患者の治療と仕事の両立に向けた就労支援の内容検討
宇土 しのぶ（慶應義塾大学病院 看護部）
- P15-213 胃がんで術後化学療法を受けながら就労を継続する患者における就労継続の
促進要因および阻害要因
武田 浩子（総合相模更生病院）
- P15-214 がん相談支援センターの対面相談に対する利用者評価
ーがん相談支援センターの相談者のフィードバックから見えた現状ー
河島 地草（がん研究会有明病院 がん相談支援センター）
- P15-215 がん相談支援センターにおける新型コロナウイルス感染症に関連した相談内容の分析
-第4波から第6波の相談対応-
石坂 暁子（熊本大学病院）

第16群 COVID-19に関連するがん看護

- P16-216 COVID-19感染拡大下の行動制限によるがんサバイバーの身体活動の変化と
心身に及ぼす影響:文献検討
玉井 なおみ（名桜大学）
- P16-217 COVID-19の感染拡大下の行動制限による乳がんサバイバーの身体活動の変化が
心身やQOLに及ぼす影響
玉井 なおみ（名桜大学）
- P16-218 COVID-19の感染拡大に伴う行動制限下における乳がんサバイバーの身体活動の変化の実態
吉澤 龍太（公立大学法人 名桜大学）
- P16-219 COVID-19を発症し希死念慮を抱えたがん患者が笑顔で退院することを実現した看護
ーがん看護マインドを取り戻し発揮するチームカー
今坂 久美子（兵庫県立がんセンター）
- P16-220 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う面会制限下のがん患者家族等の看取りの立ち会いと
看護師の身体モニタリングの実態
ー瀬 直子（東京臨海病院看護部）
- P16-221 緩和ケア病棟の退院支援における新型コロナウイルス感染拡大の影響
ー病棟運営関連データの感染拡大前後の比較から
角田 直枝（常磐大学 看護学部、茨城県立中央病院）
- P16-222 終末期がん患者に関わる看護師がCOVID-19による面会制限下で経験する困難
～中山間地域で勤務する看護師へのインタビュー調査～
門倉 康恵（吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護学科）
- P16-223 コロナ禍での面会制限の緩和と感染対策の両立に向けた緩和ケア病棟看護師の看護実践
中村 絵美（群馬県立がんセンター 看護部）
- P16-224 新型コロナウイルス感染症対策下におけるがんサロンのイベント開催の評価と課題
卯野木 理紗子（横浜市立市民病院）
- P16-225 新型コロナウイルス感染症流行に伴い受診を控えていたがん患者への介入
-治療につながった3事例についての報告-
吉野 葵（市立池田病院）

交流集会

交流集会1 2月25日(土) 10:00~12:00 第8会場(パシフィコ横浜ノースG412)

がん看護の中にゲノム医療を浸透させていこう～院内教育システムの構築を考える～

企画代表者：今井 芳枝（徳島大学大学院医歯薬学研究部）

企画協力者：竹内 抄與子（昭和大学 臨床ゲノム研究所）

御手洗 幸子（NTT東日本関東病院）
須田 有美（東京歯科大学市川総合病院）
村上 好恵（東邦大学看護学部）
大川 恵（聖路加国際病院）
宇根底 亜希子（江南厚生病院）
松本 仁美（兵庫県立はりま姫路総合医療センター）
内田 恵（神戸大学医学部附属病院）
宮脇 聡子（四国がんセンター）
日下 咲（兵庫県立がんセンター）
三浦 美和子（東京都済生会中央病院）
小野 伊久美（慶應義塾大学病院）
太田 愛（手稲溪仁会病院）
蓮岡 佳代子（岡山大学病院）

交流集会2 2月25日(土) 10:00~12:00 第9会場(パシフィコ横浜ノースG413)

マーガレット・ニューマン理論に導かれたケアは、多忙な現場の限られた時間の中で、

どのようにがん患者・家族の持つ力を支援することができるのか？

企画代表者：永井 庸央（川崎医療福祉大学/NPO法人ニューマン理論・研究・実践研究会）

企画協力者：池田 牧（鳥取県立中央病院/NPO法人ニューマン理論・研究・実践研究会）

三次 真理（上智大学/NPO法人ニューマン理論・研究・実践研究会）
今泉 郷子（東海大学/NPO法人ニューマン理論・研究・実践研究会）
千崎 美登子（北里大学病院/NPO法人ニューマン理論・研究・実践研究会）
飯尾 友華子（青梅市立総合病院/NPO法人ニューマン理論・研究・実践研究会）
小栗 藍子（元東海大学医学部附属八王子病院/NPO法人ニューマン理論・研究・実践研究会）
濱田 寛子（なごみ訪問看護ステーション/NPO法人ニューマン理論・研究・実践研究会）
藤枝 文絵（青梅市立総合病院/NPO法人ニューマン理論・研究・実践研究会）
吉森 香奈子（東海大学医学部附属八王子病院/NPO法人ニューマン理論・研究・実践研究会）

交流集会3 2月25日(土) 13:40~14:40 第9会場(パシフィコ横浜ノースG413)

がん看護実践に活かすMemorialカンファレンス・ガイドの作成の取り組み

企画代表者：中村 正子（愛知医科大学看護学部）

企画協力者：仲尾 由美（かしのき訪問看護ステーション）

城 亜希（社会医療法人 誠光会 淡海医療センター）
安永 ちはる（愛知医科大学病院）
遠藤 康恵（岡山市立市民病院）
白瀧 貴美子（日本看取り士会）

交流集会4 2月25日(土) 14:50~15:50 第9会場(パシフィコ横浜ノースG413)

親のがんを知らされたこどもと保護者への支援について

－コアラカフェ®の活動の実際－

企画代表者：寺田 由紀子（帝京大学医療技術学部看護学科）

企画協力者：南川 雅子（帝京大学医療技術学部看護学科）

古屋 洋子（帝京大学医療技術学部看護学科）
三木 祐子（帝京大学医療技術学部看護学科）
伊藤 文子（帝京大学医療技術学部看護学科）
厚澤 博美（東京工科大学医療保健学部看護学科）
量 倫子（杏林大学保健学部看護学科）
岩田 洋子（杏林大学保健学部看護学科）

交流集会5

2月25日(土) 10:00~12:00 第10会場(パシフィコ横浜ノースG414)

住み慣れた“居場所”での看取りを支える『看護』の工夫と知恵

.....

—その時々での最善を支援するために必要なことを考える—

企画代表者：濱本 千春 (YMCA訪問看護ステーション・ピース)

企画協力者：柏谷 優子 (辻仲病院柏の葉 看護部)

宇野 さつき (ファミリー・ホスピス神戸垂水ハウス)

田代 真理 (聖路加国際大学教育センター)

倉持 雅代 (青戸訪問看護ステーション)

高澤 洋子 (淀川キリスト教病院)

安富 由紀 (静岡県立がんセンター)

松浦 明海 (訪問看護ステーションもれっと)

司関 和子 (エムズ訪問看護ステーション)

矢野 順子 (ふくしま在宅緩和ケアクリニック)

長 光代 (オレンジ訪問看護ステーション)

徳谷 理恵 (ピースホームケアクリニック)

富澤 あゆみ (エムツー訪問看護ステーション)

小林 やよい (こだま在宅内科緩和ケアクリニック)

香川 由美子 (梅花女子大学)

中村 久美 (訪問看護ステーションなでしこ 3号館)

古川 智恵 (姫路大学)

交流集会6

2月25日(土) 13:40~15:40 第10会場(パシフィコ横浜ノースG414)

COVID-19蔓延下でのがん薬物療法看護認定看護師活動への影響

企画代表者：福井 里美 (東京都立大学健康福祉学部看護学科)

企画協力者：勝連 勝 (小張総合病院)

吉田 久美子 (大和市立病院)

塩野 智則 (公立藤岡総合病院)

尾川 玲子 (深谷赤十字病院)

瀬沼 亮子 (順天堂大学医学部附属順天堂医院)

齋藤 美和 (千葉大学医学部附属病院)

三浦 里織 (東京都立大学健康福祉学部看護学科)

交流集会7

2月25日(土) 15:50~16:50 第10会場(パシフィコ横浜ノースG414)

患者の力を引き出すアピアランスケア

企画代表者：鈴木 牧子 (国立がん研究センター東病院 看護部)

企画協力者：藤間 勝子 (国立がん研究センター中央病院 アピアランス支援室)

高橋 由美子 (国立がん研究センター中央病院 看護部)

伊藤 暖子 (国立がん研究センター中央病院 看護部)

交流集会8

2月26日(日) 9:10~11:10 第8会場(パシフィコ横浜ノースG412)

がん疼痛患者を対象とした介入研究を多機関共同研究で行うためのロジスティクス構築

～非ランダム化比較対照試験に取り組んで～

企画代表者：山中 政子 (天理医療大学)

企画協力者：鈴木 久美 (大阪医科薬科大学)

佐藤 明美 (札幌医科大学附属病院)

川北 智子 (東京女子医科大学八千代医療センター)

中村 千里 (聖マリアンナ医科大学病院)

中村 巳保子 (大阪市立総合医療センター)

飯田 幸恵 (近畿中央呼吸器センター)

中村 直美 (近畿中央呼吸器センター)

交流会9 2月26日(日) 9:10~11:10 第9会場(パシフィコ横浜ノースG413)

がんサバイバーが持つ「つながる力」を感じ、考え、支援する
～マギーズ東京来訪者の声から様々な支援のありようを考える～

企画代表者：小園 香奈子（認定NPO法人マギーズ東京）

企画協力者：高田 芳枝（認定NPO法人マギーズ東京、栃木県立がんセンター）

中村 めぐみ（認定NPO法人マギーズ東京、聖路加国際大学）

岩城 典子（認定NPO法人マギーズ東京）

梅田 恵（認定NPO法人マギーズ東京、日本ホスピスホールディング株式会社）

大和田 眞知子（認定NPO法人マギーズ東京）

木村 晶子（認定NPO法人マギーズ東京、国立国際医療研究センター糖尿病情報センター）

栗原 幸江（認定NPO法人マギーズ東京、都立駒込病院、上智大学グリーンケア研究所）

篠木 絵理（認定NPO法人マギーズ東京、東京医療保健大学千葉看護学部）

早川 満利子（認定NPO法人マギーズ東京、東京医科歯科大学病院）

松原 昌代（認定NPO法人マギーズ東京）

水野 俊美（認定NPO法人マギーズ東京、がん研有明病院）

村上 紀美子（認定NPO法人マギーズ東京）

秋山 正子（認定NPO法人マギーズ東京、白十字訪問看護ステーション）

交流会10 2月26日(日) 12:40~14:40 第9会場(パシフィコ横浜ノースG413)

「がん患者の持つ力、それは患者力」

企画代表者：長谷川 友美（福島厚生連白河厚生総合病院 緩和ケアチーム）

企画協力者：東 光久（奈良県立総合医療センター）

守田 亮（秋田厚生医療センター）

遠藤 久美（静岡県立静岡がんセンター）

交流会11 2月26日(日) 14:50~15:50 第9会場(パシフィコ横浜ノースG413)

自壊創のにおいと滲出液の管理 ～エビデンスと現場で活用できるケアHow to～

企画代表者：松原 康美（北里大学看護学部）

企画協力者：高木 良重（福岡国際医療福祉大学 看護学部）

高橋 純（千葉県がんセンター）

水島 史乃（藤枝市立総合病院）

山本 佳子（兵庫県立がんセンター）

交流会12 2月26日(日) 9:10~10:10 第10会場(パシフィコ横浜ノースG414)

【SIG災害がん看護企画】地域特性を考慮したがん患者と家族に対する災害支援

～都市、地方ならではのご当地災害対策について話し合おう～

企画代表者：笠谷 美保（千葉労災病院）

企画協力者：風間 郁子（筑波大学附属病院）

中信 利恵子（日本赤十字広島看護大学）

菅野 久美（福島県立医科大学看護学部）

菅原 よしえ（宮城大学看護学群）

今津 陽子（東京医科歯科大学大学院）

岩永 和代（福岡大学医学部看護学科）

村松 真実（上尾中央病院）

天野 薫（聖隷クリストファー大学）

岸田 さな江（獨協医科大学病院）

交流集会13

2月26日（日）10:20～11:20 第10会場(パシフィコ横浜ノースG414)

「妊孕性温存を望む小児・AYA世代への看護」一緒に考えよう、私たちにできること

企画代表者：益子 直紀（群馬県立県民健康科学大学看護学部）

企画協力者：岩崎 多津代（国立病院機構東京医療センター）

近江 圭祐（杏林大学医学部附属病院）

太田 佳男（岡山大学病院）

桶作 梢（石川県立看護大学看護学部）

加藤 由香（静岡県立こども病院）

小林 幹紘（武蔵野大学看護学部）

齊田 菜穂子（山口大学大学院医学系研究科）

齊藤 太樹（東京歯科大学 市川総合病院）

斎藤 寛子（静岡県立こども病院）

高根 秀成（東北福祉大学 健康科学部 保健看護学科）

津村 明美（認定NPO法人 横浜こどもホスピスプロジェクト）

西岡 英菜（兵庫県立大学看護学部）

橋本 理恵子（関西医科大学看護学部）

平田 陽香（北里大学大学院 看護学研究科）

横井 夢律美（地方独立行政法人大阪市民病院機構大阪国立総合医療センター）

交流集会14

2月26日（日）12:40～14:40 第10会場(パシフィコ横浜ノースG414)

糖尿病とがんを併せ持つ患者への支援

－がん薬物療法を受けるがんと糖尿病を併せ持つ患者へのセルフマネジメント支援ツールの開発

企画代表者：光木 幸子（同志社女子大学）

企画協力者：田中 登美（奈良県立医科大学）

山本 裕子（畿央大学）

横田 香世（大阪青山大学）

南村 二美代（大阪公立大学）

服部 美景（京都府立医科大学附属病院）

藤田 かおり（洛和会音羽病院）

門田 典子（京都看護大学）

交流集会15

2月26日（日）14:50～15:50 第10会場(パシフィコ横浜ノースG414)

看護管理の視点からがん看護の質の向上を考える～人的資源の活用を通して

企画代表者：清水 裕子（群馬県立県民健康科学大学看護学部）

企画協力者：奥山 絢子（聖路加国際大学看護学研究科）

北田 陽子（群馬大学医学部附属病院）

國江 慶子（東京女子医科大学看護学部）

小和田 美由紀（渋川医療センター）

竹内 朋子（東京医療保健大学東が丘看護学部）

角田 明美（群馬大学医学部附属病院）

福井 純子（北海道医療大学看護福祉学部看護学科）

藤木 由佳子（がん研究会有明病院）

細川 舞（岩手県立大学看護学部）

本多 昌子（渋川医療センター）

森田 幾代（がん研究会有明病院）

山下 慈（青森県立中央病院）

教育セミナー

教育セミナー1 (共催：アストラゼネカ株式会社)

2月25日(土) 12:30～13:30 第1会場 (パシフィコ横浜ノースG301+G302)

周術期でBRCA検査を検討する患者と家族に必要な看護師の関わり

座 長：井関 千裕 (兵庫県立西宮病院 がん看護専門看護師/乳がん看護認定看護師)

講 師：大川 恵 (聖路加国際病院 看護部 遺伝看護専門看護師)

教育セミナー2 (共催：テルモ株式会社)

2月25日(土) 12:30～13:30 第2会場 (パシフィコ横浜ノースG303+G304)

がん化学療法に輸液ポンプを有効活用するには

座 長：神田 清子 (高崎健康福祉大学 保健医療学部 看護学科 学科長・成人看護学教授)

講 師：菅野 かおり (日本看護協会神戸研修センター 教育研修部 認定看護師教育課程課長

がん薬物療法看護認定看護師)

森本 佐登美 (社会医療法人 愛仁会 明石医療センター 看護部 外来看護科 がん診療支援センター 主任

がん薬物療法看護認定看護師)

教育セミナー3 (共催：日本イーライリリー株式会社)

2月25日(土) 12:30～13:30 第3会場 (パシフィコ横浜ノースG314+G315)

乳がん治療薬アベマシクリブの最適な看護を目指して

～セルフマネジメント向上のために私たちができること～

座 長：鈴木 久美 (大阪医科薬科大学 看護学部 教授)

講 師：一場 慶 (群馬大学医学部附属病院 乳がん看護認定看護師)

梅本 郁奈子 (市立貝塚病院 乳がん看護認定看護師)

教育セミナー4 (共催：第一三共株式会社)

2月25日(土) 12:30～13:30 第4会場 (パシフィコ横浜ノースG401)

・HER2陽性転移・再発乳癌の薬物療法

～トラスツズマブ デルクステカンの副作用マネジメントにおけるポイント～

・がん薬物療法における有害事象マネジメントの共創

－「どうあるべきか」ではなく「どうありたいか」を考える－

座 長：入江 佳子 (筑波大学附属病院 看護部 がん看護専門看護師)

講 師：北野 敦子 (聖路加国際病院 腫瘍内科 医幹)

磯貝 佐知子 (新潟県立がんセンター新潟病院 看護部 副看護師長/がん化学療法看護認定看護師)

教育セミナー5 (共催：日本ベクトン・ディッキンソン株式会社)

2月25日(土) 12:30～13:30 第5会場 (パシフィコ横浜ノースG402)

・曝露対策に関する患者さんへの教育について

・看護師の教育をどのように行うのか

座 長：西脇 可織 (小牧市民病院 がん看護専門看護師)

講 師：高橋 由美 (北海道がんセンター 看護部 がん化学療法看護認定看護師)

市川 智里 (国立がん研究センター東病院 看護部 がん看護専門看護師)

教育セミナー6 (共催：ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社/小野薬品工業株式会社)

2月25日(土) 12:30～13:30 第6会場 (パシフィコ横浜ノースG403)

いま知っておきたい「がん免疫とirAE」～知ればケアがきっとよくなる～

・看護師のための“がん免疫”かんたん解説

・irAEの患者支援～看護師が押さえておくべきエッセンス～

座 長：水野 道代 (筑波大学 医学医療系 教授)

講 師：富樫 庸介 (国立大学法人岡山大学学術研究院医歯薬学域 腫瘍微小環境学分野 教授)

長崎 礼子 (がん研究会有明病院 看護部 がん化学療法看護認定看護師)

教育セミナー7 (共催：久光製薬株式会社)

2月25日(土) 12:30～13:30 第7会場 (パシフィコ横浜ノースG404)

最新の知識でがんの痛みを緩和しよう ～がんの診断・治療からフレイルまでの疼痛治療～

座 長：田村 恵子 (京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 先端中核看護科学講座

緩和ケア看護学 教授 がん看護専門看護師)

講 師：林 糸り子 (公立大学法人横浜市立大学 医学部 看護学科 成人看護学領域 がん看護専門看護師)

教育セミナー8 (共催：ポストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社)

2月25日(土) 12:30～13:30 第9会場 (パシフィコ横浜ノースG413)

前立腺がんにおける最新の治療法～看護師との連携の重要性～

- ・前立腺がん放射線治療におけるハイドロゲル直腸スパーサーの役割と注意点
- ・前立腺がん治療における医師との連携

座 長：塩澤 綾 (地方独立行政法人神奈川県立病院機構 神奈川県立がんセンター 看護局
がん看護専門看護師)

講 師：津村 秀康 (北里大学病院 泌尿器科 講師)

藤木 浩子 (地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立多摩総合医療センター
がん放射線療法看護認定看護師)

教育セミナー9 (共催：中外製薬株式会社)

2月25日(土) 12:30～13:30 第10会場 (パシフィコ横浜ノースG414)

看護師のためのirAEマネジメント～患者さんのためにできること～

- ・免疫チェックポイント阻害薬治療とirAEマネジメントの重要性
- ・これからのirAEチームマネジメントに期待される看護師の役割

座 長：中村 喜美子 (鈴鹿医療科学大学 看護学部 看護学科 がん看護専門看護師)

講 師：駄賀 晴子 (大阪市立総合医療センター 腫瘍内科 部長)

中村 理恵子 (大阪市立総合医療センター がん薬物療法看護認定看護師)

教育セミナー10 (共催：MSD 株式会社)

2月26日(日) 11:30～12:30 第1会場 (パシフィコ横浜ノースG301+G302)

多職種連携を通じたirAEマネジメントのポイント 乳がん術前・術後薬物療法の観点から

- ・もっと知りたい、最新の免疫チェックポイント阻害剤併用療法とAEマネジメント
- ・irAEについてもっと知って、患者さんと一緒に早期発見

座 長：梅田 恵 (ファミリー・ホスピス株式会社 執行役員・品質管理責任者 がん看護専門看護師)

講 師：下井 辰徳 (国立がん研究センター中央病院 腫瘍内科 医長)

矢野 美穂 (国立がん研究センター中央病院 看護部 通院治療センター がん化学療法看護認定看護師)

教育セミナー11 (共催：小野薬品工業株式会社)

2月26日(日) 11:30～12:30 第2会場 (パシフィコ横浜ノースG303+G304)

知っておきたい、治療期の食欲不振・体重減少ケア～がん悪液質治療を考える～

- ・がん治療における集学的支持療法の重要性～消化器外科医の視点から～
- ・集学的支持療法において、看護師が出来ること

座 長：柏木 夕香 (新潟県立がんセンター新潟病院 がん看護専門看護師)

講 師：今村 博司 (市立豊中病院 外科主任部長 兼 がん診療部副部長)

秦 真由美 (市立豊中病院 がん化学療法看護認定看護師)

教育セミナー12 (共催：日本イーライリリー株式会社)

2月26日(日) 11:30～12:30 第3会場 (パシフィコ横浜ノースG314+G315)

肺がん治療のEGFR阻害薬による皮膚障害：スキンケア指導の実践

座 長：矢ヶ崎 香 (慶應義塾大学 看護医療学部 教授)

講 師：西野 和美 (大阪国際がんセンター 呼吸器内科 主任部長)

谷口 純子 (大阪国際がんセンター 看護部 がん化学療法看護認定看護師)

山崎 直也 (国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科 科長)

教育セミナー13 (共催：中外製薬株式会社)

2月26日(日) 11:30～12:30 第4会場 (パシフィコ横浜ノースG401)

・危険予知トレーニングの概要

・危険予知トレーニングの実際～ところあるがん看護をめざして～

座 長：増島 麻里子 (千葉大学大学院看護学研究院 教授)

講 師：細川 香代子 (医療法人財団 荻窪病院 看護部長)

番匠 章子 (北里大学北里研究所病院 医療安全管理室 がん看護専門看護師)

教育セミナー14 (共催：インサイト・バイオサイエンス・ジャパン合同会社)

2月26日(日) 11:30～12:30 第5会場 (パシフィコ横浜ノースG402)

がんゲノム医療のあるある

- ・がんゲノム医療の概要と診療の実際—相談内容を中心に—：がんゲノム医療中核拠点病院の立場から
- ・看看連携で支えるゲノム医療：がんゲノム医療連携病院の立場から
- ・がんゲノムパネル検査の紹介事例と相談支援：非がんゲノム医療病院の立場から

座長：片岡 純 (愛知県立大学 看護学部 成人慢性期看護学 教授)

講師：杉山 育子 (東北大学病院 看護部 がん看護専門看護師)

岸田 さな江 (獨協医科大学病院 看護部 がん看護専門看護師)

飯尾 友華子 (青梅市立総合病院 がん相談支援センター がん看護専門看護師)

教育セミナー15 (共催：楽天メディカル株式会社)

2月26日(日) 11:30～12:30 第6会場 (パシフィコ横浜ノースG403)

頭頸部アルミノックス治療 (光免疫療法) 実施に際しての運用・看護のポイント

- ・頭頸部アルミノックス治療の概要
- ・頭頸部アルミノックス治療実施に際しての運用・看護のポイント
- ・頭頸部アルミノックス治療 (光免疫療法) 実施に向けた環境及び体制整備

座長：橋口 周子 (神戸大学医学部附属病院 看護部 がん看護専門看護師)

講師：鳥居 淳一 (がん研究会有明病院 頭頸科 医師)

横井 麻珠美 (がん研究会有明病院 がん化学療法看護認定看護師)

早坂 紀子 (がん研究会有明病院 病棟看護師長)

教育セミナー16 (共催：ノバルティス ファーマ株式会社)

2月26日(日) 11:30～12:30 第7会場 (パシフィコ横浜ノースG404)

最適な慢性GVHD管理

- ・造血幹細胞移植に伴う慢性GVHD ～治療のポイントと、看護師に期待する役割～
- ・慢性GVHDの適切な看護 ～必要な知識・技術と、岡山大学の実践例～

座長：森 文子 (国立がん研究センター中央病院 副看護部長 がん看護専門看護師)

講師：鴨井 千尋 (岡山大学病院 血液・腫瘍内科、造血幹細胞移植支援センター)

山成 洋子 (岡山大学病院 看護部 BCR副看護師長)

教育セミナー17 (共催：ファイザー株式会社)

2月26日(日) 11:30～12:30 第9会場 (パシフィコ横浜ノースG413)

外来がん薬物療法看護の新たな取り組み～看護師による診察前問診～

座長：糸川 紅子 (日本赤十字秋田看護大学 看護学部 看護学科 准教授)

講師：本間 織重 (昭和大学病院 がん看護専門看護師)

教育セミナー18 (共催：バイエル薬品株式会社)

2月26日(日) 11:30～12:30 第10会場 (パシフィコ横浜ノースG414)

大腸がん化学療法における看護師の役割

- ・大腸がんにおける当院のレゴラフェニブの使用経験
- ・レゴラフェニブ治療における症状マネージメントへの取り組みと成果

座長：藤澤 陽子 (千葉大学医学部附属病院 看護師長 がん看護専門看護師)

講師：山北 伊知子 (広島市立北部医療センター安佐市民病院 がんゲノム診療科 兼 腫瘍内科 部長)

小原 由里 (広島市立北部医療センター安佐市民病院 がん化学療法看護認定看護師)

教育セミナー19 (共催：ファミリー・ホスピス株式会社)

WEB開催のみ (オンデマンド配信)

がん患者の在宅療養が上手くいくコツ～訪問看護と病院看護の連携～

- ・がん患者の退院調整の困りごと
- ・在宅におけるがん看護～訪問看護と病院看護との連携～

座長：海津 未希子 (みその生活支援クリニック/生活支援ステーションじょんのび がん看護専門看護師)

講師：牧 克仁 (昭和大学病院 看護部 緩和ケア認定看護師)

平原 優美 (日本訪問看護財団常務理事、在宅看護専門看護師)